

令和2年度

事業報告及び財務報告書

社会福祉法人

東村山市社会福祉協議会

令和2年度 事業報告及び財務報告書

目 次

事業報告	1
I 福祉のまちづくり事業	
1 地域福祉活動推進事業	3
2 標準服リユース事業	11
3 啓発事業	12
4 ボランティアセンター	13
5 福祉教育活動の推進	16
6 高齢者生きがい事業	19
7 健康長寿のまちづくり推進室事業	21
8 老人クラブ等助成事務及び育成相談事業	22
II 相談事業	
1 総合相談事業	24
2 生活福祉資金貸付事業	25
3 ひとり親家庭高等職業訓練促進資金貸付事業	28
4 応急小口資金貸付事業	28
5 中部地域包括支援センター（基幹型）	29
6 中部地域包括支援センター（地域型）	31
7 東村山市基幹相談支援センター	35
8 福祉サービス総合支援事業	39
9 成年後見制度推進事業	43
III 在宅福祉サービス事業	
1 居宅介護支援事業、介護予防ケアマネジメント、介護予防支援事業	49
2 訪問介護事業、介護予防・日常生活支援総合事業第一号訪問事業 ..	50
3 ガイドヘルパー派遣事業	52
4 ふれあい事業	53
5 手話通訳者派遣事業	54
6 移送サービス事業	58
7 車いす短期貸出事業	59
IV 法人運営	
1 組織運営事業	60
2 計画推進・調査・広報・連絡調整	65
財務報告	71

令和2年度は、新型コロナウイルスに対する「緊急事態宣言」で幕を開けました。社協事業のうち、利用者の暮らしを支える相談部門やサービス提供部門では、大きな影響を受けながらも事業を止めることはありませんでした。成年後見制度推進事業では、市民後見人等候補者の登録が9名となり、うち3名が受任して後見活動を行っています。生活福祉資金貸付事業では特例貸付が実施され、大勢の申し込みがあり対応に追われることとなりました。

地域福祉活動推進部門では、多くの事業が中止や延期を余儀なくされました。中でも、地域福祉大会、ボランティアまつり、長寿を共に祝う会、介護予防大作戦といった、地域の人たちと共につくり上げてきた大きな行事が中止や縮小になったことは、職員にとっても辛い経験でした。

他方では、今までの事業を見つめ直したり、オンラインの活用が本格化したりするなど、新しい活動が誕生するきっかけにもなった一年間でもありました。

以下重点目標ごとの事業概要について報告します。

1. 第5次地域福祉活動計画及び社協発展・強化計画の推進

計画推進については、全町で地域懇談会の開催を見合わせたことなどから、4つの重点アクションを広げていくことができませんでした。話し合いの場を持つことが難しい状況でしたが、オンラインでの情報交換、動画作成による情報発信、コロナ禍での課題や必要な支援を把握するためのアンケート調査、屋外や少人数での活動など、できることを探して取り組みました。

2. 福祉協力員会を核とした、一人ぼっちのいない町づくり

「地域のために活動したい」という福祉協力員の思いと、「つながりを保ちたい、交流したい」という地域の人たちの声に応え、少しずつ活動が再開されつつありましたが、コロナの感染状況が大きく変動する中で依然として厳しい状況が続いています。社協では、福祉協力員会の活動を「5つの手」として整理し、一人ひとりの繋がりを強固にすることで、「一人ぼっちのいない町」を目指そうという方向性を提案しました。

3. 社会課題の解決を目指す取り組みの検討と自主財源の確保

専門家とアドバイザー契約を結び、ファンドレイジングチームを中心に検討を進めています。令和2年度は、視覚に障がいのある方も移送サービスが利用できるように準備を進めました。こうした独自事業を進める自主財源の確保については、長い歴史の中で一円貨募金を初めて中止するなど、厳しい結果となりました。社協の活動を可視化することで、理解して応援してもらえる人を増やし、より幅広く積極的に寄付が受けられるように、ホームページ更新に取り組みました。

4. 社会福祉協議会の特徴を生かした事業の運営

社協は、自ら多くの相談事業やサービス事業を実施すると同時に、市民や福祉関係機関・従事者、行政や官公署などとネットワークをつくり、参加と協働によって地域福祉を推進する「協議会」であることが特徴です。さらに、民間の社会福祉法人として、制度の狭間にある福祉課題の解決に向けて、他の社会福祉法人などとも協力しながら積極的に取り組むことが求められています。

令和2年度は、住民同士のささえ合い活動を広げるために関係者が集まって協議する「東村山ささえ合い活動推進会議」を新たに立ち上げました。また、社会福祉法人連絡会の活動として「お昼ご飯お届け事業」を実施しました。総合相談チームの活動も2年目を迎え、困りごとを包括的に受け止めて支援する実践を積み重ねました。

5. 持続可能な組織の運営体制の確立

組織運営の面では、まちづくり支援係と法人運営係の連携により、町担当職員の複数体制を復活させるなど、住民活動の支援体制を特に強化しました。また、専門家の助言を受けながら、会計処理の適正化や効率化に取り組みました。さらに、令和2年度は計画的な人材育成を目的とした人事評価制度の仕組みを導入し、令和3年度より実際の運用に移ります。

介護保険事業では、今後の事業運営の安定化を目的として、介護支援専門員の常勤化を図りました。

I 福祉のまちづくり事業

1 地域福祉活動推進事業

(1) 福祉協力員会活動の推進（発展・強化計画関連事業）

【協力員数 561名 ※令和3年3月31日現在】

新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、福祉協力員会活動も令和2年3月末から6月末頃まで休止した。4月には各地区長へ電話と書面による情報共有を行い、5月には『協力員☆タイムズ』、『ボランティアネット』、『コロナに負けない！ぼんたくんと元気を届けよう（法人経営・まちづくり推進課内協働）』などを全福祉協力員へ発送して、一人ひとりとのつながりを絶やささないよう努めた。

◇地区長会の開催

回	日時・会場	内 容
1	7/7(火) 10:00～12:00 社協・地域福祉活動室	1. まちづくり支援係の新年度組織体制について 2. コロナ禍での各町の様子について 3. 今年度の地域活動について 4. 情報交換 5. その他
2	8/21(金) 10:00～11:30 社協・地域福祉活動室	1. 令和2年度「長寿を共に祝う会」について 2. 令和2年度下半期の事業計画及び予算について 3. 令和2年度社協会員会費について 4. その他
3	①秋・青・富・美 2/8(月) 13:30～15:00 ②本・久・恩・萩・栄・諏 2/9(火) 13:30～15:00 ③廻・多・野 2/10(水) 10:00～11:30	1. 令和2年度事業報告及び決算報告と令和3年度事業計画及び予算書について 2. これからの福祉協力員会活動について 3. 各町からの活動報告 4. 長寿を共に祝う会 5. 理事・監事選考委員の選出について

◇13町ごとの活動支援

町名	交流行事の実施	定例活動、個別支援活動
本 町	○けんこう茶話会 中止 ○長寿をともに祝う会 中止 ○おひなまつり会 中止	大岱小学校新1年生下校見守り 中止
久米川町	○長寿を共に祝う会 中止	○ふれあい親子サロン（第1・3金曜日）中止 ○元気アップ萌木（毎週水曜日）中止 ○サロン久米川1丁目（毎週月曜日）7月から試行
秋津町	○ふれあい茶話会 中止 ○長寿を共に祝う会 中止 ○ふれあい みんなのコンサート 中止 ○ふれあい作品展 (3/5～3/7 234名)	○サロンひなぎく（第3火曜日） 上半期は中止したが、10月、11月は感染予防対策に努めながら実施。12月以降は感染者増加により中止。その間はスタッフが利用者へ電話訪問活動をおこなった。 (10/20 36名、11/17 28名) ○ふらっとカフェ（第3月曜日）中止

		○里のかふえ（毎週火曜日）中止
青葉町	○長寿を共に祝う会 中止	○2丁目昼食会 （第2.4木曜日…下堀自治会館）中止 ○3丁目昼食会 （第1.3木曜日…青葉地域センター）中止 ○おしゃべり会 （第1.3月曜日・吉田さろん）中止
恩多町	○長寿を共に祝う会（記念品配付） 中止	○恩多おしゃべり会（第4金曜日）中止 屋外でウォーキングを数回実施 ○グリーンサロン（第3金曜日）中止 ○恩多見守り隊・キレイ化（第1水曜日）中止 ○野火止小学校新1年生下校見守り（大岱小は中止） ○大岱小学校児童への愛のメッセージ ○医療従事者への応援メッセージ ○お散歩MAP作成
萩山町	○2・3・4丁目お楽しみ会 中止 ○5丁目お楽しみ会 中止 ○1丁目お楽しみ会 中止 ○長寿を共に祝う会 中止	○ふれあい交流「はぎの花」 上半期は休止したが、10～12月は人数を制限し、感染防止に努めながら実施。また、1月～3月はサロン活動は休止したが、見守りも含め個別訪問活動を実施。 ・1丁目：第4金曜日（延14名） ・2丁目：第3水曜日（延38名） ○ミニ喫茶はぎ（第1水曜日）中止
栄町	○長寿を共に祝う会（記念品配布） 中止 ○公開講座 中止 ○おひなまつりの会 中止	○栄サロン（第4火曜日） 上半期は休止し、10月～12月は感染防止に努めながら小規模で実施。 ○大岱小学校新1年生下校見守り 中止 ○いっぷくバザー 中止
富士見町	○ふれあいゲートボール 中止 ○ふじみお楽しみ茶話会 中止 ○ふれあいコンサート 中止 ○長寿を共に祝う会 中止	○ふれあいサロン 花いかだ 中止
美住町	○みすみふれあい交流 中止 ○長寿を共に祝う会 中止	○みすみサロン ・上半期休止。下半期は感染状況等を考慮し実施を判断。10.11月に第1・2サロン合同で人数を制限するなど感染防止に努めながら実施。 ・サロンが開所できない間、7月より利用者へスタッフが月1回電話訪問を行った。
廻田町	○ふれあい交流会「グラウンドゴルフ」 中止 ○長寿を共に祝う会 中止	○めぐりたサロン（第4水曜日） 下半期には人数制限、感染防止に留意しながら数回実施。 ○めぐりたサロン料理教室 （偶数月第3水曜）中止
多摩湖町	○長寿を共に祝う会（記念品配付） 中止	○手芸サロンひまわり（第1月曜） 6月から再開
諏訪町	○諏訪町おたのしみ会 中止 ○春のコンサート 中止 ○長寿を共に祝う会（記念品配布） 中止	

野口町	○長寿を共に祝う会 中止 ○お楽しみ会 中止 ○講座 中止	
-----	-------------------------------------	--

◇施設などへの協力、広報紙の発行、研修、会議

町	地域での連携 施設・学校などへの協力	広報紙発行 講座開催、研修	会議（全体会・部会等）
本町	○本町さくらまつり 中止	○広報「ゆかいなほんち ょう」（9月700部、3 月1,000部発行） ○男の料理教室 11月調 理をせず実施 他中止 ○バス研修 中止	○全体会（2回） ○役員会（拡大役員会含 む5回） ○長寿実行委員会 中止 ○ニコミ紙編集委員会 （7回）
久米川町	○空堀川川まつり 中止 ○梅岩寺盆踊り 中止 ○久米川共同作業所行事 ボランティア 中止 ○ふれあいセンターまつり 中止	○広報「久米川町福祉だ より」（3,500部）10月 発行 ○バス研修 中止	○役員会（班長会含む 10回） ○全体会 中止
秋津町	○施設へのボランティア活動 はるびの郷・毎週月曜日、あ きつの里・毎週 中止 ○ふれあいセンター美化活動 中止 ○秋津小学校避難所運営連絡会 中止 ○秋津東小学校避難所運営連絡会 ○第六中学校避難所運営連絡会	○広報「あきつ」 （4,000部・4回） ○講座「男の料理」中止	○全体会（3回） ○役員会（4回） ○丁目別会議（5回） ○長寿実行委員会 中止 ○ハーモニカ・ウクレレバンド「ド レミファどん」（第2・4金曜 練習、サロン・茶話会等で 演奏）10月より再開
青葉町	○2丁目夏祭り 中止 ○施設ボランティア 中止 ○白十字ホーム・青葉の杜・白十字 八国苑でのボランティア活動 中止	○広報「青葉町の福祉」 （4,000部）未発行 ○講座「男の料理」中止 ○バス研修 中止	○全体会（2回） ○部長会（1回）
恩多町	○さくらテラス青葉町 散歩 付添、車いす整備（第2、4 水曜日）中止 ○三世代交流会（月1回）中止 ○恩多町納涼祭 中止 ○なごみの里防災訓練 中止 ○大岱小避難所運営連絡会 中止	○広報「みんなの恩多町」 （7月・3000部） ○男の料理教室（6、9月の 第1火）中止 ○バス研修 中止	○役員会（3回） ○定例会（6回）中止 ○ニコミ紙編集委員 会（第1水曜日）中止 ※Zoomを用いた試行ミ ーティング有
萩山町	○親子のひろば「どんぐり」 スタッフボランティア （7月～12月まで実施/6回） ○実務学校解体工事説明会参 加	○広報「はぎやま」 4,000部・2回 ○バス研修 中止 ○講座 中止	○全体会（6回） ○役員会（10回） ○協力員研修（1回） ○ニコミ編集会議（4回） ○あいさつ運動推進委 員会（5回） ○はぎの花1丁目スタ ッフ会議（2回）

			<ul style="list-style-type: none"> ○はぎの花2丁目スタッフ会議(2回) ○避難所運営連絡会及びコロナ禍避難所運営訓練
栄町		<ul style="list-style-type: none"> ○広報「さかえ町福祉協力員会だより」(1回発行) ○バス研修 中止 	<ul style="list-style-type: none"> ○全体会(4回) ○役員会(10回) ○ニコ紙編集会議 ○栄サロンスタッフ会議(1回)
富士見町	<ul style="list-style-type: none"> ○さつき荘お楽しみ食事会 中止 ○あゆみの家合同祭り 中止 ○ハトホームお話相手 中止 ○さやま園夏まつり 中止 ○村山苑合同納涼祭 中止 ○ふじみ玉すだれ一座 (ボランティア公演) 中止 ○富士見憩の家・児童館との交流会 メッセージカード作成 	<ul style="list-style-type: none"> ○広報「ふれあい富士見町」(1回発行) 	<ul style="list-style-type: none"> ○全体会(4回) ○役員会(8回) ○実行委員会 <ul style="list-style-type: none"> ・ニコ紙編集委員会 ・長寿実行委員会
美住町	<ul style="list-style-type: none"> ○団地夏祭り 中止 ○団地祭 中止 	<ul style="list-style-type: none"> ○広報「みすみ」(1回発行) ○レクリエーション講座 中止 	<ul style="list-style-type: none"> ○全体会(7回) ○役員会(9回) ○ニコ紙編集委員会
廻田町	<ul style="list-style-type: none"> ○回田小学校避難所運営連絡会 ○第七中学校避難所運営連絡会 ○第四中学校避難所運営連絡会 未開催 	<ul style="list-style-type: none"> ○サロンバス研修 中止 	<ul style="list-style-type: none"> ○全体会(3回) ○役員・チーフ会議(2回) ○各係打合せ
多摩湖町	<ul style="list-style-type: none"> ○多摩湖町さくらまつり 中止 ○昼食会 中止 ○多摩湖町納涼の集い 中止 ○ふれあいセンターまつり 中止 	<ul style="list-style-type: none"> ○広報「ふれあいたまこ」(2回発行) 	<ul style="list-style-type: none"> ○全体会 1回 ○役員会(拡大役員会含む) 5回 ○丁目別会議(4回)
諏訪町	<ul style="list-style-type: none"> ○白十字ボランティア 中止 ○化成小ボランティア 中止 ○化成小・白十字ホーム里孫活動 中止 ○化成小認サポ 中止 	<ul style="list-style-type: none"> ○広報「わが町諏訪町」(2回発行) 	<ul style="list-style-type: none"> ○全体会(4回) ※運営員・地区連絡員 拡大会議含む ○運営委員会(4回) ○長寿実行委員会 ○広報紙編集委員会
野口町	<ul style="list-style-type: none"> ○白十字ホームボランティア 中止 ○猿田彦神社夏まつり 中止 	<ul style="list-style-type: none"> ○広報「たのしいまち野口町」2回(臨時号1回含む) 	<ul style="list-style-type: none"> ○全体会・総会 中止 ○役員会(2回) ○ふれあい委員会 中止 ○研修委員会 中止 ○地域交流委員会 中止 ○広報委員会(1回)

(2) 地域ネットワーク活動の推進（発展・強化計画関連事業）

項 目	実 績
地域懇談会の開催	<p>新型コロナウイルス感染拡大防止のため、原則として令和2年度の開催は見合わせた。</p> <p>○諏訪町地域懇談会幹事会（1回）</p> <p>○富士見町福祉施設連絡会（1回）</p>
地域ネットワーク活動の支援	<p>現在、市内8町9つある地域ネットワーク活動の運営推進、課題解決等のため、会議や活動に参加した。</p> <p>【萩山町あいさつ運動】推進委員会（5回）</p> <p>【諏訪町ゆっと】幹事会（6回）、運営委員会（5回）</p> <p>【青葉安心ネット】運営委員会（12回）、交流会（7回）</p> <p>【アミーゴ青葉制作委員会】委員会（1回）、前期分発行配布</p> <p>【秋津あんしんネット】運営委員会（10回）</p> <p>10月中旬より見守りまち歩き活動実施・ポスターでPR</p> <p>【本町だいじょうぶだぁネット】運営委員会（3回）</p> <p>【野口町あいさつふれあい運動実行委員会】（3回）</p> <p>介護予防大作戦とタイアップ、自転車カゴプレートの作成</p> <p>【富士見町あいさつ運動】推進委員会（2回）、実行委員会（2回）</p> <p>【WE LOVE恩多町プラン推進会】メールにて連絡</p>
住民活動の拠点 （ふれあいスペースいっぷく）	<p>南部エリアの拠点として栄町・萩山町福祉協力員会の会議や事業での利用のほか、高齢者や障害者のサロン活動、ボランティアグループの話し合いの場など様々な地域活動で利用されている。新型コロナウイルス感染拡大防止のため令和2年3月から休館としたが7月15日より利用再開。</p> <p>利用実績（延べ）：7月0団体0名、8月7団体24名、9月6団体24名 10月7団体31名、11月7団体38名、12月8団体50名、1月5団体17名 2月6団体22名、3月5団体31名</p> <p>① いっぷく運営連絡会の開催</p> <p>地域のふれあいと交流のよりよい場づくりを目指して、利用団体等と意見交換、大掃除を行っている。</p> <p>第1回 7月6日（月）13:30～15:30 中止</p> <p>第2回 11月2日（月）13:30～14:30 社協にて開催（9団体10名参加）</p> <p>第3回 3月1日（月）会議は中止し書面開催</p> <p>② ボランティア活動等の支援</p> <p>◇ベルマークボランティア 日時；毎月第1火曜日 13:30～15:00 内容；ベルマークの企業別整理、計算（8月より実施）</p> <p>◇介護予防体操 日時；毎月第1・2・4月曜日 10:00～11:30 中止</p>
（吉田さろん）	<p>ボランティアグループや青葉町福祉協力員会、見守りネットワーク活動等、青葉町の地域活動拠点として利用されている。新型コロナウイルス感染拡大防止のため7月より利用再開したが、緊急事態宣言再発出により、令和3年1月から夜間利用は中止。</p>
介護予防大作戦 in 東村山	<p>※第1層生活支援コーディネーター事業にて報告。</p>

地域防災活動及び避難所運営連絡会への参画	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、参加見合わせ。
----------------------	----------------------------

(3) 第1層生活支援コーディネーター事業

令和2年度より専任1名の体制となった。新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けて、年度当初は地域活動が停止または制限されていたため、上半期は地域活動団体の様子や高齢者の生活状況の把握に努め、活動再開に向けて必要なサポートについて第2層コーディネーターとともに検討を行った。

下半期は、コロナ禍においても感染症への対策を講じながら、地域住民のつながりや話し合いの場、学ぶ機会を止めない取組みを検討し、リモートを取り入れるなどの方法で会議や講演会の開催を行った。

項 目	実 績
地域資源や地域ニーズの把握	<p>◇自立支援型地域ケア会議への参加（オブザーバー・助言者）4回 個別の事例検討を通じて、地域で暮らしている高齢者の生活課題や社会参加に関する課題に焦点を当て、地域や市全域での共通の課題として捉え、サービスの創出や支え合いのしくみづくりの参考とするため、情報収集を行った。</p> <p>◇各圏域地域包括支援センターとの連携会議への参加 22回 福祉協力員会や地域ネットワークの活動について情報収集を行い、地域課題や社会資源の把握に努めた。</p>
情報発信ツールの開発	<p>住民活動の情報や生活支援体制整備事業等について住民にわかりやすく伝えるためのツールとして『のめっこい通信(生活支援コーディネーター通信)』を発行した。コロナ禍において、ソーシャルディスタンスを保ちながら、人と人とのつながりを切らさないことや、自宅に閉じこもりがちになることで起こりうるフレイルの予防について情報発信を行った。（8月・2月の2回発行）</p>
2020 介護予防大作戦 in 東村山	<p>コロナ禍により、例年のようなイベントの開催は困難なことから、感染拡大防止に配慮したうえで実施できる取組みを住民と共に検討し、下記の事業を計画・実施した（各町地域推進委員会の取組みについては、まちづくり担当が中心となって実施した）。</p> <p>(1) 介護予防と健康づくりに関する情報交換 各町地域推進委員会を開催 13町合計：延べ24回 自粛中の団体活動や地域の高齢者の様子について情報交換を行い、コロナ禍でもできる取組みや、来期以降の活動につながるよう意見交換等を行った。</p> <p>(2) スキルアップを図るためのスタッフ研修会 テーマ「地域で取り組む介護予防」～コロナ禍の今だからこそ大切なこと～ 日時：令和3年3月31日（水）14：30～16：00</p>

	<p>講師：東京都健康長寿医療センター研究所 大淵 修一氏 参加者：30人（リモート参加者含む） ＊当初12/8に開催する予定だったが、感染症が拡大傾向であるため延期した。 ＊会場参加とリモートを活用したハイブリット型にて実施した。</p> <p>(3)少人数でもできる介護予防活動</p> <p>①廻田町 12/4（金）「フレイル予防の体操」講話と体操（37名参加） 講師：東京ばっなん白光園 作業療法士 川島 洋平氏</p> <p>②栄町 12/18（金）体操DVDに収録する手話ソングの撮影（11名参加）</p> <p>(4)フレイル予防動画（DVD）の制作 住民と関係機関、事務局でDVDの制作部会を立ち上げ、市内で活動する団体等の体操を収録したDVDを制作した（300枚）。</p>																		
<p>地域活動マッチングイベントの開催</p>	<p>自宅に閉じこもりがちな地域の高齢者の社会参加を促進するため、マッチングイベントを開催した。令和2年度は、感染症拡大防止の観点からパネル展示を行い、人が密集しないように配慮した。</p> <p>開催日：令和3年3月1日（月）～3月12日（金） 開催場所：いきいきプラザ エレベーター前ホール パネル展示参加団体数：45団体 来場者数：延べ1,231人 アンケート回収数：455</p>																		
<p>第1層協議体の設置・開催</p>	<p>東村山市内に住む高齢者が、いつまでも住み慣れた地域で安心して暮らし続けるために、住民同士のささえ合い活動を広げる検討を行う『東村山ささえ合い活動推進会議（第1層協議体）』を設置し、5回開催した、近隣との付き合いやサロン活動、地域活動などの小グループの中に取り入れられる、ささえ合いのしくみについて検討した。</p> <table border="1" data-bbox="443 1285 1465 1910"> <thead> <tr> <th></th> <th>開催日時</th> <th>内容・テーマ等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1回目</td> <td>9/24(木)</td> <td>高齢者が抱える生活の課題とそれを支える団体が抱えるニーズ、市としての目指すべき方向性について共有する</td> </tr> <tr> <td>2回目</td> <td>11/4(水)</td> <td>学習会 「住民同士のささえ合いを広げていくために」 講師：東京都健康長寿医療センター研究所 野中 久美子氏</td> </tr> <tr> <td>3回目</td> <td>12/2(水)</td> <td>・東村山市や第1層協議体が目指す生活支援の方向性の提示 ・グループワークにて「地域活動が生まれるコツ・活動を継続するコツ」等の情報交換</td> </tr> <tr> <td>4回目</td> <td>2/19(金)</td> <td>グループワークにて「助け合いを意識した居場所づくりを進める」ためのアイデア出し ＊リモートを活用したハイブリット型にて開催</td> </tr> <tr> <td>5回目</td> <td>3/22(月)</td> <td>・ささえ合いが生まれるしくみのフロー共有 ・助け合い体験（ゲーム）</td> </tr> </tbody> </table>		開催日時	内容・テーマ等	1回目	9/24(木)	高齢者が抱える生活の課題とそれを支える団体が抱えるニーズ、市としての目指すべき方向性について共有する	2回目	11/4(水)	学習会 「住民同士のささえ合いを広げていくために」 講師：東京都健康長寿医療センター研究所 野中 久美子氏	3回目	12/2(水)	・東村山市や第1層協議体が目指す生活支援の方向性の提示 ・グループワークにて「地域活動が生まれるコツ・活動を継続するコツ」等の情報交換	4回目	2/19(金)	グループワークにて「助け合いを意識した居場所づくりを進める」ためのアイデア出し ＊リモートを活用したハイブリット型にて開催	5回目	3/22(月)	・ささえ合いが生まれるしくみのフロー共有 ・助け合い体験（ゲーム）
	開催日時	内容・テーマ等																	
1回目	9/24(木)	高齢者が抱える生活の課題とそれを支える団体が抱えるニーズ、市としての目指すべき方向性について共有する																	
2回目	11/4(水)	学習会 「住民同士のささえ合いを広げていくために」 講師：東京都健康長寿医療センター研究所 野中 久美子氏																	
3回目	12/2(水)	・東村山市や第1層協議体が目指す生活支援の方向性の提示 ・グループワークにて「地域活動が生まれるコツ・活動を継続するコツ」等の情報交換																	
4回目	2/19(金)	グループワークにて「助け合いを意識した居場所づくりを進める」ためのアイデア出し ＊リモートを活用したハイブリット型にて開催																	
5回目	3/22(月)	・ささえ合いが生まれるしくみのフロー共有 ・助け合い体験（ゲーム）																	
<p>第2層生活支援コーディネーターの活動支援</p>	<p>市、第1層コーディネーター、第2層コーディネーターが共通認識をもち、一定の基準で地域づくりをすすめるため、会議や研修会の開催、情報の集約等の側面的なサポートをおこなった。</p>																		

◇生活支援コーディネーター会議の開催（定例：毎月第3月曜日）	
開催日	5/20 6/3 6/15 7/20 8/17 9/14 10/22 11/16 12/21 1/25 2/22 3/24（12回）
検討内容等 （主なもの）	<ul style="list-style-type: none"> ・市全域、各圏域の目標の設定・評価について ・各圏域の生活支援ニーズ調査の進捗状況について ・コロナ禍の活動団体のサポート（聞き取り調査）について ・生活支援コーディネーター通信・体操動画の作成について ・マッチングイベントパネル展の実施について ・生活支援コーディネーター研修会について ・ボランティアセンター、認知症施策との連携について ・のめっこ通信について 等
◇作業部会の開催（不定期）	
上記の生活支援コーディネーター会議だけでは整理しきれない検討事項について、別途作業部会を設けた。（4/6、9/2、11/16）	
◇研修会の計画・実施	
生活支援コーディネーターのスキルアップを図るため下記のテーマで研修会を開催した。	
①『ニーズ調査や協議の場づくり』（10/19）	
②『情報の活かし方・業務の見える化』（3/15）	
～アセスメントと目標の階層化で地域づくりを戦略的に進めよう～	
◇目標設定や達成に向けてのサポート	
<ul style="list-style-type: none"> ・目標を達成するための取組み方法や業務推進上の課題等の聞き取りを行い、行動計画をより具体化するためのサポートをした。（各圏域1回） ・目標の達成に向けて、第2層コーディネーターが抱えている課題や工夫について情報交換し、お互いの取り組みを参考にしたり、進んでいく方向について考え方を統一する場を設けた。（2回） ・アンケートの集計方法など、作業が簡素化できる方法について学ぶ場を設定した。（1回） 	

◇研修会・連絡会などへの参加

月日	研修名	テーマ
7/26	第1回生活支援体制整備事業に係る情報交換会	協議体のあり方 ～住民・関係者による主体的な運営に向けて～
8/18	都社協セミナー ウィズコロナにおける社協の地域づくり第1弾	感染防止と活動の再開に向けて
8/28	東京ホームタウンプロジェクト公開講座 地域包括ケアにおける地域づくりの進め方 (Zoom)	持続可能な仕組みづくり／伴走支援に向けた個別支援
9/7	第1回生活支援体制整備事業に係る情報交換会	生活支援体制整備事業におけるオンラインツールの活用について

9/18	令和2年度第1回地域包括ケア事例研究会	新しい生活様式における生活支援を考える
12/10	2020年度認知症地域づくり支援研修 (Zoom)	With コロナ時代の「居場所」「つながり」のカタチ～感染症流行下に認知症高齢者・家族の社会的孤立をどう防ぐか?～
1/19	居宅連絡会研修会(事業説明) (Zoom)	生活支援コーディネーターについて
1/21	自立支援型地域ケア会議 担当者研修	地域ケア会議の中で出てきた課題をどのように日々の包括業務に反映させていけるか
3/17	認知症サポーターオンライン交流会 (Zoom)	

(4) 地域福祉活動の支援

項目	実績
助成金の交付	令和2年度の助成金を各団体に交付した。(件数、金額は返還前の実績) ◇地域福祉活動助成(12団体) 489,000円 ◇当事者団体助成(10団体) 368,800円 ◇ふれあい・いきいきサロン運営費助成(56団体) 1,197,215円 ※助成金交付団体に文書によるアンケート調査を実施(5月)
ふれあい・いきいきサロン数	◇ふれあい・いきいきサロン 65団体 74か所(高齢者、障害者、子育て、世代間交流サロン等)
サロン・スタッフ交流会等	①サロン交流会&認知症サポーターフォローアップ講座 in 萩山町 日時; 10月30日(金) 13:00~15:00 萩山公民館にて開催 参加者; 9団体 20名参加 ①「コロナ禍でも人と繋がるヒントブック」発行(1月) ②「コロナ禍における今後のサロン活動」アンケート実施(3月) ③その他、適宜情報提供等多数

2 標準服リユース事業

(1) 標準服リユース事業

項目	実績
事業の検討	ファンドレイジングチーム(FRT)にて事業実施について、寄付・譲渡の確認、広報等について検討を行った。
募集と広報	福祉だより(5月、7月、3月号)にて、標準服の寄付を呼びかけた。 寄付件数; 70点/22世帯
標準服の譲渡	福祉だより(12月号)、関係機関を通じて、必要としている方へ案内した。 譲渡件数; 35点/18世帯

3 啓発事業

(1) 障害者週間・福祉のつどいの開催

項目	実績		
運営委員会	有志による運営委員会だが、構成員の減少と固定化への対策として、有志の他に輪での選任を打診し、新たに2団体が参加（計8団体）。		
	日にち	内 容	人数
	4/10	今年度の開催について	3名
	5/8	実行委員募集、今後の進め方について	5名
	6/12	運営委員会・実行委員会、実施内容について	8名
	7/10	会場（スポーツセンター）下見、企画内容について	10名
	8/28(臨時)	今年度の実施について	10名
	9/11	コンセプト、企画内容について	11名
	10/9	参加状況、今後のスケジュールについて	11名
	11/13	パネル展、販売コーナー、前日準備片づけについて	11名
	2/18	12/11 延期；今年度の報告、次年度について（オンライン開催）	9名
実行委員会	新型コロナウイルス感染症拡大の影響から参加辞退もあったが、17 団体で実行委員会を組織することができた。		
	日にち	内 容	人数
	第1回	7/16 自己紹介、今年度の内容、グループワーク	22名
	第2回	9/17 経過説明、今年度の実施について	18名
	第3回	10/22 参加に向けての質問事項等（書面開催）	
	第4回	11/19 パネル展、販売コーナー、前日準備片づけについて	15名
	第5回	3/17 12/17 延期；（オンライン開催）	10名
実施内容	<p>開催期間；12月3日（木）～9日（水）＊土日除く 9時～16時（パネル展示）、10時～15時（販売）</p> <p>会 場；東村山市役所いきいきプラザ1階ロビー、グリーンバスバス停付近</p> <p>来場者数；433名（期間中延べ人数）</p> <p>内 容；団体紹介パネル展 12団体 自主制作品販売 8団体 パネル展会場内で施設紹介、楽器演奏等の動画放映 3団体</p>		

4. ボランティアセンター

(1) ボランティア・市民活動相談（発展・強化計画関連事業）

項 目	実 績
相談及び調整	<p>①様々な相談を受け、解決に向けて社協組織内の各係や他機関と連携した。 新規ケース；3件（子どもの遊び相手、障害児の送迎） 継続支援ケース；8件（通院や外出付添、ゴミ出し、代読など） その他の相談；14件（高齢者世帯および障害者世帯のゴミ捨て、環境分野のボランティア、居場所、引越しの相談、ペットの預け先についてなど） 要請者数；4名、要請件数；81件、活動者数（のべ）；61名 ※ボランティアセンターを通して調整した件数</p> <p>②ボランティア活動・ボランティア要請に関する相談及び調整を行った。 要請件数；20件、活動者数（のべ）；6名、活動団体数（のべ）；6団体</p> <p>③ボランティアグループ、NPO・市民活動団体の運営や活動に関する相談に応じた。</p>
ボランティア登録	個人登録95名、グループ登録79団体（2,668名）
ボランティア保険	保険加入者2,754名（内、天災プラン加入者49名） ボランティア事故報告1件（動物によるひっかき傷）

(2) 連携・ネットワーク

項 目	実 績
ボランティアグループ懇談会	<p>①情報交換やネットワーク構築の場として月1回ボランティアグループ懇談会を開催した。（4～6月は休止）7月からは会場とオンラインどちらからも参加できるように実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアグループの活動発表（楽器演奏等）、Zoom おためし体験会開催、コロナ禍の近況報告 ・公開講座「災害発生！その時、東村山は！？」／講師 蓑田圭二先生（防災士）開催（11月28日） ・ボランティア交流会を完全オンライン型で実施／西宿人形芝居、東村山昔話保存会（2月27日） <p>②ボランティアグループ懇談会の活動の支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報誌「ボランティアグループ一覧」の作成（6月・150部） <p>③VSネットの実施</p>
ボランティアグループとの連携	<p>子どもたちが安心して過ごせる場所を作るための意見交換や、イベントを企画実施した。</p> <p>※4月、5月は休止</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夏休み「ぐっどすぺーす」開催（活動拠点を増やして開催） 8月11日、13日、14日…ふれあい工房（美住町） 8月12日、17日、18日、19日…社協

	<p>延べ16名の子どもが参加。</p> <p>※課題を自宅に持ち帰って取り組んでもらう「プリントチャレンジ」として実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・冬休み「ぐっどすぺーす」開催 <ul style="list-style-type: none"> 12月25日、26日、28日…社協地域福祉活動室 1月4日、5日…ふれあい工房 <p>延べ19名の子どもが来場。書初め、宿題に取り組む子どもが多かった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フードドライブについての学習会（講師：社協・瀧澤企画調整担当主査） 8月28日
関係機関との連携	<p>高齢者、障害者を支援するケアマネジャーなどに、ボランティアの関わりについて説明を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東村山市生活支援コーディネーター会議（10月22日） ・東村山市居宅介護支援事業者連絡会研修会（1月19日）
他社協との連携	<p>都及び区市町村ボランティアセンターとの連携及び北多摩北部ブロック（武蔵野市、小平市、清瀬市、西東京市、東久留米市、東村山市）の連絡会へZoomで参加し、コロナ禍における事業運営等について情報交換等を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北多摩北部ブロックボランティア担当者連絡会（7月9日、10月9日、3月18日） ・区市町村ボランティア・市民活動推進担当者会議（7月31日、10月16日、1月21日） ・区市町村ボランティア・市民活動センター長会議（6月18日、9月11日、12月10日、2月18日）

（3）情報の収集・提供

項目	実績
情報の収集と提供	<p>①毎月1回ボランティアネットを発行した。</p> <p>②ボランティア活動情報を収集し、提供した。</p> <p>③ふれあいステーション「ぽんたくん」、会議室の利用について、一時的な利用中止期間を設けた。利用再開後も、人数制限や感染症予防チェックリストの提出、利用者名簿の保管（2週間）を利用者にお願いした。</p> <p>④福祉だより(社協広報紙)に、ボランティアセンター関連情報を掲載した。</p> <p>⑤ホームページ、フェイスブック、ツイッター等を活用して情報発信を行った。ホームページ内に感染症関連情報をまとめた特設ページを作成、情報を公開した。</p> <p>フェイスブックについては、子ども協力員をレポーターにした取り組みや動画を取り入れるなどの工夫を行った。</p> <p>⑥ボランティアセンターの紹介動画を作成した。ボランティアに撮影から編集を依頼。リポーターとして夏体験ボランティア参加者が出演し完成。ボランティア活動推進委員を通じて、副校長会で視聴してもらい、閲覧用</p>

	教材として保管していただいている。今後ボランティアセンターのカウンター等で視聴できるよう準備を進めている。
--	---

(4) ボランティア活動推進委員会の開催

項目	実績
委員会の開催	<p>①ボランティア活動推進委員会を開催した。 6月（感染リスクを考慮して書面会議）、11月25日、2月25日（感染リスクを考慮して、オンラインを併用して開催）</p> <p>②ボランティア活動推進委員会のほかに、次の小委員会を開催した。 ※新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、4～6月まで中止。</p> <p>1) ボランティア需給調整委員会 毎月第2・4木曜日 計9回開催 2) ボランティアネット編集委員会 毎月第1金曜日 計6回開催</p>

(5) 災害ボランティアセンターの運営

項目	実績
災害ボランティアセンター設置・運営訓練など	<p>①社協災害プロジェクト会議を開催し、災害ボランティアセンター立ち上げ時を想定したオリエンテーション動画の作成、Google フォームを活用した「災害ボランティアの仮募集フォーム」の作成、災害時優先業務（BCP）改訂版の検討、被災地の災害ボランティアセンターの情報のとりまとめ、普通救命講習会を企画・開催した。 (7月16日、10月26日、12月23日、2月19日)</p> <p>②災害ボランティアセンター立ち上げ訓練については、感染リスクを考慮して実地訓練ではなく、「感染症&災害ボランティアセンター立ち上げに関するオンライン研修」として実施した。(3月5日) 参加者；社協職員20名、東村山災害スタボラ会7名、市職員1名</p> <p>③感染症下における災害ボランティアセンターの設置・運営の可能性を見据えて、市の関係部署（防災安全課、地域福祉推進課）と情報校交換を行った。 (7月31日)</p> <p>④上記、市との検討事項を受け「新型コロナウイルス感染症拡大防止下における、東村山災害ボランティアセンターの設置・運営方針」をまとめた。 また、上記の設置・運営方針を市の関係部署へ情報共有するとともに、市長に対して説明を行った。(10月1日)</p> <p>⑤東村山災害スタボラ会の定例会（毎月第4金曜日の午後）に参加し、情報共有や活動支援を行った。 ※緊急事態宣言を受け4～6月の定例会は中止。7月から再開。2度目の緊急事態宣言を受け、1月の定例会中止。</p> <p>⑥「あなたの力が東村山を救う 防災力アップ講座（全6回）」を企画したが、緊急事態宣言の発出により中止とした。申込者の防災への意識啓発のため、オンライン特別講座を急遽企画し、開催した。 ・オンライン特別講座「災害発生！どうなる東村山？どう身を守る？！（特</p>

	<p>別版) 」</p> <p>日時；1月23日(土) 14:00～16:30</p> <p>講師；蓑田圭二氏(防災士)</p> <p>参加者；15名</p> <p>⑦災害時の技術系専門ボランティアとの連携・協働について学ぶため、東京ボランティア・市民活動センター主催の「災害ボランティアコーディネーター養成講座(運営者コース土木編・全3回)」を受講した。</p> <p>日程；8月6日(木)、8月20日、9月3日</p> <p>講師；松山文紀氏(震災がつなぐ全国ネットワーク事業担当、JVOAD 技術系専門委員会幹事)</p> <p>小林直樹氏(風組関東)</p> <p>中島武志氏(災害救援レスキューアシスト)</p> <p>⑧近隣地域の災害ボランティアグループの取り組みを視察・体験するため、みんなの安心避難所スキルアップセミナー「感染症リスク下における避難生活を考える」にZoomで参加した。</p> <p>講師；東久留米市助け合おう避難所の会(6月21日)</p>
災害支援活動	<p>大規模災害の発生により共同募金会で義援金の募集が行われた場合に、市内での募金活動に取り組んだ。</p> <p>・令和2年7月豪雨災害義援金(中央共同募金会へ)</p>

5. 福祉教育活動の推進

(1) 青少年へのボランティア・福祉教育の推進(発展・強化計画関連事業)

項目	実績
福祉学習の相談・調整・支援	<p>学校やボランティアグループ等と連携を図り、福祉教育の推進を行う。</p> <p>※新型コロナウイルス感染症予防対策を講じ、新たな取り組み内容をボランティアと共に検討した。10月より実施。</p> <p>※緊急事態宣言を受け、学校と相談の上、1月以降の支援(3回)は中止した。また、講師の都合で対応できない内容もあった(3回)。</p> <p>◇支援校数：11校(学年別に集計、小学校・中学校)</p> <p>◇実施回数：42回(学校との打ち合わせ回数を含む)※相談回数は除く</p> <p>◇主な支援内容：福祉学習(車いす体験、見えないことの体験・手話体験・障害当事者による講話、高齢者についての話)、取り組み内容の相談・アドバイス、講師派遣・調整、機器等貸出など。</p> <p>◇ボランティアグループ等の協力：福祉さんき会、さつき294、聴覚障害者協会、手話サークル、手話サークルしおり、視覚障害者友の会、車いす利用者、地域包括支援センター。</p> <p>◇ゲストティーチャー交流会</p> <p>講師および先生方と共に福祉学習を振り返り、意見・情報交換を行った。</p> <p>日時；3月30日(火) 10:00～11:30 参加者；13名</p>

<p>夏体験ボランティア事業</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の影響を受け、多くの施設や団体がボランティアの受け入れを中止した。そのため、従来のような福祉施設や団体でのボランティア活動ではなく、感染リスクを考慮し、ボランティアセンターと特定の施設や団体による活動の場を提供した。</p> <p>◇活動期間：8月中</p> <p>◇参加：10名（小学生1名、中学生8名、高校生1名） ※応募は12名（2名がキャンセル）</p> <p>◇オリエンテーション（個別対応）：7/22～29</p> <p>◇活動メニューおよび参加者 ※職員が終了まで同席した</p> <p>①イラストボランティア（0名） ②車いすの整備（2名） ③防災グッズを作ろう！（6名） ④ボランティアセンター紹介動画の リポーター（1名） ⑤障害者施設の体操動画モデル（1名）</p> <p>◇振り返り</p> <p>9/5までに感想文、元気応援メッセージの提出。小・中学生には子ども協力員（ボラチル）の案内をしたところ、小学生1名が登録し、夏休み以降も活動中。</p> <p>◇協力団体：救護施設 村山荘、ウィールの会、災害スタボラ会</p>
<p>福祉の職場体験&座談会 「おためしふくし塾」</p>	<p>今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止とした。例年、福祉の仕事の魅力を発信することを目的として、福祉の「職場体験」と福祉の仕事テーマにした「座談会」をセットで行っているが、受け入れ先の利用者との関わりが難しく、残念ながら中止とした。</p>
<p>子ども協力員「ボラチル」の募集、活動支援</p>	<p>昨年度からのボラチルメンバーに加え、今年の「夏！体験ボランティア」事業に参加した小学生が加わり、7名（小学生2名、中学生5名）で活動。コロナ禍でも取り組めるボランティア活動情報等を発信しながら、支援を行った。</p> <p>◇今後活動してみたい内容や、ボラチルのオリジナルグッズで欲しいと思うものについて、アンケートを実施した。（8月）</p> <p>◇ボラチルニュースを発信した。（8月、9月、11月）</p> <p>◇今年度のそれぞれの活動を振り返る会を設けた。また、ボランティアセンターに寄付していただいた手作りマスクに、オリジナルのロゴをアイロンプリントするボランティア活動を同日行い、市内のあいさつ運動を推進する団体等に配布した。</p> <p>日時；12月19日（土）14：00～16：00</p> <p>参加者；5名</p> <p>作成枚数；100枚</p> <p>◇活動への参加；自宅でできる簡単体操のモデル（緊急事態宣言中にボラチル自宅内で撮影した写真を福祉だより5/1号に掲載）、新型コロナ注意喚起モデル（福祉だより7/1号に掲載）、秋津療育園の花壇の手入れ（月1回程度）、元気応援メッセージプロジェクト、東村山ボランティアセンター紹介動画のリポーター、歳末たすけあい運動募金箱作成、歳末たすけあい運</p>

	動の広報車で使用する音声録音、オリジナルロゴのマスクづくり など
--	----------------------------------

(2) 担い手の育成(発展・強化計画関連事業)

項 目	実 績
ゆるボラ&おためしボランティア体験講座 (中止)	5月末から6月にかけて、①手話講座②紙芝居講座③点字講座④失語症理解の講座⑤福祉教育サポーター講座⑥福祉協力員会講座をそれぞれ予定し、講師と打ち合わせを行っていたが、講師側の意見や安全面を考慮して中止した。
からだに障害のある方の幸せを応援するボランティア講座	からだに障害があっても、当たり前前の幸せを感じることでできる地域づくり。そのため大切なことを5名の講師からお話を伺った。 日 時；11月26(木)、28(土) いずれも14:00~16:00 参加者：17名 講師：朝比奈志津子氏(障害のある方の保護者)、小山大志氏(障害児放課後等デイサービスひまわり)、下川和洋氏(NPO法人地域ケアサポート研究所)、浅見一志氏(車いす工房輪)、杉本ゆかり氏(NPO法人Lino)
防災力アップ講座	「あなたの力が東村山を救う 防災力アップ講座(全6回)」を予定していたが、新型コロナの感染拡大により中止とした。申込者の防災への意識啓発のため、オンライン特別講座を急遽企画し、開催した。(※再掲) オンライン特別講座「災害発生! どうなる東村山? どう身を守る?! (特別版)」 日時；1月23日(土) 14:00~16:30 講師；蓑田圭二氏(防災士) 参加者；15名
第1層生活支援Co.との連携	高齢者の生活を支える活動を市内に広げていくことを目的とした推進会議「東村山ささえ合い活動推進会議」に参加し、参加者と高齢者の日常生活における困りごとについて情報交換、研修等を行った。 (9月24日、11月4日、12月2日、2月19日、3月22日)

(3) 新型コロナ禍における新たな取り組み

項 目	実 績
情報の収集と提供	◇緊急事態宣言期間中、ボランティアの受け入れ状況や受け入れ再開に向けて施設・団体が抱えている課題や必要な手立て、今後の要望について、アンケート調査を実施した。 ・配布団体数 105 団体 ・回答団体 66 団体 ◇上記アンケート結果、及び「元気応援メッセージプロジェクト」の完成ポスターをお届け時に、今現在のボランティアの受け入れ状況や今後の見通し、活動可能な取り組み等について、直接の聞き取りにより情報収集を行った。

手作りマスクの作成とお届け	<p>コロナ禍におけるマスクの供給不足を受け、ボランティアネットを通じて、手作りマスクの材料とともに、作成ボランティアを募集。完成したマスクは、マスクの洗い方のチラシを同封して個別に包装し、マスクを必要としている方々や施設等へお届けした。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア数 34名+3団体（内訳；材料の寄付11名、作成ボランティア23名+3団体） ・完成したマスクの総数 953枚 ・お届けしたマスクの数 420枚
ボランティアセンター発！元気応援メッセージプロジェクト	<p>8月中福祉施設に入所している方や、医療・福祉の現場で働く職員の方々へ、メッセージカードや写真等を通じて、元気をお届けする事業を実施した。その後、メッセージカードや写真をポスターにして、施設・団体へお届けした。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お寄せいただいたメッセージカードや写真 延べ130名分 内訳；利用者さん向け メッセージカード64枚、写真6枚 職員さん向け メッセージカード54枚、写真6枚 ・お届けしたポスターのお届け先 72施設・団体
災害ボランティアセンターの設置・運営方針	<p>「新型コロナウイルス感染症拡大防止下における、東村山災害ボランティアセンターの設置・運営方針」をまとめ、市の関係機関と情報共有をした。 (再掲)</p>

6 高齢者生きがい事業

(1) 高齢者の生きがい対策事業

項目	実績									
いきいきサロン萩山の運営	利用登録者数；40名（令和3年3月末現在）									
	新型コロナウイルス感染拡大防止のため活動休止し7月より新たな運営方法で再開。休止期間中は電話連絡や健康維持の資料配布、手紙の発送を行った。									
	①利用延人数									
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	上半期合計		
	男性	0	0	0	6	10	12	28		
	女性	0	0	0	68	89	145	302		
	合計	0	0	0	74	99	157	330		
	新規	0	0	0	0	0	0	0		
	退会	0	2	3	4	2	0	11		
		10月	11月	12月	1月	2月	3月	下半期合計	年度合計	
男性	19	15	15	18	17	22	106	134		
女性	168	162	153	137	153	183	956	1,258		
合計	187	177	168	155	170	205	1,062	1,392		

	<table border="1"> <tr> <td>新規</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>退会</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>3</td> <td>14</td> </tr> </table>	新規	1	0	1	0	0	0	2	2	退会	1	2	0	0	0	0	3	14
新規	1	0	1	0	0	0	2	2											
退会	1	2	0	0	0	0	3	14											
	<p>②スタッフ月例ミーティング（7月より月1回） 利用者の状況や対応の申し送り、活動内容の検討</p> <p>③サロンバス研修、クリスマス会 中止</p>																		
憩いの家利用者サービス事業	<p>①児童館との交流事業・季節のつどい 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、例年の集う形での交流は中止。憩いの家利用者と児童双方でクリスマス、年始にちなんで集めた応援メッセージを模造紙に貼り付け、掲示する形で交流をはかった。</p> <p>②集いと交流の日 火曜日(久米川・廻田)、木曜日(萩山・富士見)の循環バス運行日を「集いと交流の日」とし、カラオケや軽体操など気軽に参加できるプログラムを実施していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、ぬりえ等に変更し実施した。</p>																		
高齢者生きがい講座	<p>感染リスクを考慮して上映会形式で企画。ボランティア活動に関する動画の視聴を通じて、高齢者の生きがいづくり、地域参加のきっかけとすることを目的に「あなたの“知りたい” “やりたい”を応援！動画で学ぶシニアの生きがいづくり」を開催した。</p> <p>日 時；3月30日（火）13:30～15:00 参加者；3名 内 容；西宿人形芝居、東村山ボランティアセンターの動画視聴、ボランティア活動紹介、ボランティア登録についてなど</p>																		

（2）敬老福祉啓発事業

長寿を共に祝う会	<p>本年度は、新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から高齢者や福祉協力員の健康・安全面を考慮し、従来の各町福祉協力員会による実施形式（会の開催又は記念品手配り）を中止。お祝いの気持ちを表す形として、対象者全員へ記念品等を宅配した。</p> <p>①関係者会議の開催 （第1回）日時；7/7(火)10:00～12:00 （地区長会にて） 内容；令和2年度 長寿を共に祝う会について （コロナ禍における開催要領・スケジュール等） （第2回）日時；8/21(金)10:00～12:00 （臨時地区長会にて） 内容；令和2年度 長寿を共に祝う会について （実施方法について確認） （第3回）日時；令和3年2/8（月）、2/9（火）、2/10（水） （地区長会にて ※分散して実施） 内容；令和2年度長寿を共に祝う会の振り返り、意見交換</p> <p>②実施内容 市内に住所を有する、7月31日時点で満80歳以上となる在宅高齢者を対象</p>
----------	--

	<p>として、10月1日時点で市内に住民票を有する方12,808名に11月から発送。</p> <p>(1)記念品(ゴーフレット) (2)主催者(市・社協)お祝い文 (3)各町福祉協力委員会お祝い文 (4)新型コロナウイルス注意喚起チラシを宅配した。印刷や封入を業者に委託、発送期日に余裕がなかったため、社協でも封入業者から記念品製造、発送業者へ運搬対応した。</p> <p>○発送後の対応</p> <p>発送直後、「中身のわからない、身に覚えのないものが送られてきた」との問合せを受けて、市・社協で検討。急きょ外箱に事業名を表記したステッカーを作成し対応した。</p> <p>○返品への対応</p> <p>受取拒否や長期不在などの理由でお届け出来なかった記念品は、一定期間宅配業者にて保管後、社協事務所へ返品された。返品への対応及び分類方法について市・社協で検討のうえ、社協で簡単なフローを作成して対応した。また、社協からはがきで再案内を行い、受け取り意向のある方(含家族等)へ記念品を手渡した。</p> <p>○返品品の取扱い等について</p> <p>はがきによる再案内の期日を過ぎた記念品は市へ返品。その後市より、都内フードバンクへ譲渡。</p> <p>③「高齢者への手紙」(米寿のお祝い)</p> <p>例年のように小学生から米寿の方へのお手紙は学校側からの要請で実施せず。米寿を迎えた方に送る祝い品の封詰め作業を行った。</p>
--	--

7 健康長寿のまちづくり推進室事業

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、6月末まで使用休止。

多目的講座室利用状況(延べ件数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
市老連	0	0	0	9	8	9	11	14	15	4	18	22	110
高齢者団体	0	0	0	12	10	11	15	13	12	11	10	16	110
福祉団体 他	0	0	0	0	0	2	1	2	1	1	1	1	9
市	0	0	0	3	6	7	8	3	2	6	3	0	38
計	0	0	0	24	24	29	35	32	30	22	32	39	267

8 老人クラブ等助成事務及び育成相談事業

項目	実績
補助金申請 援助	<p>市老連事務局は、書類提出時点で軽微な誤りや書類不足等の点検を行い、社協と市健康増進課にて内容検査を実施した。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため単位クラブとの面談は行わず、電話によるヒアリングに変更した。書類等の修正を行ったうえで、補助金申請及び実績報告書を社協より市健康増進課へ提出した。</p> <p><令和2年度東村山市老人クラブ補助金申請書及び令和元年度実績></p> <ul style="list-style-type: none"> ・報告書の受付及びチェック；4月6日（月）～10日（金） ・補助金申請面談；4月20日（月）～24日（金） ・補助金支出；6月
老人クラブの 育成・相談	<p>補助金対象会員数は2,156名で、前年度（2,309名）比較153名減であった。市外や重複入会も含む老人クラブ加入総数は2,197名、昨年（2,360名）比較で163名減（入会172人、退会335人、退会内訳：転出18名、逝去43名、他209名、解散65名）。解散2クラブ。</p> <p>◇令和2年4月1日現在、老人クラブ数；37クラブ 会員数；2,156名</p>

町名	本町	久米川	秋津	青葉	恩多	萩山	栄	富士見	美住	廻田	多摩湖	諏訪	野口
クラブ数	2	5	1	3	2	4	6	5	2	2	1	2	2
会員数	57	328	88	200	89	189	383	210	75	120	114	166	137

連合会事務局 の運営及び活 動支援	◇事務所及び談話室来訪者数を計測した。 (件)							
		①老人クラブ 会員 (人)	②会員外高 齢者 (人)	③職員他 (人)	④談話室 利用 (人)	⑤電話外 線 (本)	⑥電話内 線 (本)	対応 合計
	年間計	1,755	351	805	244	1,639	869	5,663
	月平均	146	29	67	20	137	72	471
	日平均	7	1	3	1	7	4	24
<p>※①②③は、いきいきプラザ4階市老連事務室来訪者数。</p> <p>④は、いきいきプラザ4階健康長寿のまちづくり推進室談話室利用者数。</p> <p>⑤⑥は、市老連事務所電話対応数。（推進室電話対応数は未調査）</p>								
◇令和2年度市老連活動実績								
市老連の活動内容							回数	人数
1、社会奉仕活動	総務部会活動（コロナウイルス対策で中止）						0	0
	産業まつり（コロナウイルス対策で中止）							
	友愛活動（コロナウイルス対策で中止）							
2、健康づくり活動	厚生部会活動3回						18	365
	健康体操教室6回							

	心の健康他講習会 1 回		
	レクダンス講習 6 回		
	ペタンク大会、ふれあい・80歳の運動会 (コロナウイルス対策で中止)		
	グランドゴルフ大会 1 回		
	運動会打合せ (コロナウイルス対策で中止)		
	輪投げ大会 1 回		
3、生きがいを高める活動	文化部会活動 1 回	20	151
	芸能文化祭 (コロナウイルス対策で中止)		
	女性部会活動 1 1 回		
	広報部会活動 7 回		
	手芸教室 1 回		
	チャリティーカラオケ (コロナウイルス対策で中止)		
4、その他の社会活動	都老人クラブ連合会行事他 4 回	34	496
	市老連会長会 5 回		
	役員会 1 3 回		
	地区協議会活動 4 回		
	都、市関連行事・会議他 5 回		
	社協理事会他 1 回		
	監査・会計等事務 2 回		
5、その他	新年会、会員旅行等 (コロナウイルス対策で中止)	0	0
合 計		72	1005

Ⅱ 相談事業

1 総合相談事業

係を横断した「総合相談チーム」を編成し、市民からのあらゆる相談に対して必要に応じて福祉サービス等の情報を提供するとともに、相談内容により社協他事業や関係機関等に繋げ支援を行った。

また、総合相談チーム会議において、受理した相談の分析を行った。

(1) 総合相談事業（発展・強化計画関連事業）

①相談実績（月別の電話相談、来所、連絡調整等の延べ件数）

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
5	17	7	3	6	7	12	5	6	2	6	13	89

②新規、継続相談件数

①新規相談者	25	
新規相談の対応結果	継続相談	6
	初回相談のみ	19
②前年度からの継続相談者	2	

※「初回相談のみ」は、「相談を受ける→情報提供した」という1往復のやりとりで終了したもの。情報提供等したのち、さらに相談等が続いたものを継続相談としている。

・新規相談件数は昨年度より少なかった。

③対応方法（延べ件数）

来所相談	13
電話相談	18
家庭訪問	20
電話訪問	10
ケース連絡	20
ケース引継ぎ	6
その他	2
合計	89

・来所相談・電話相談件数が昨年度より少なく、家庭訪問件数が昨年度の3倍以上となった。

・対応の延べ件数は昨年度と比べて微増となった。

④相談内容（延べ件数）

1. 病気や健康、障害について	18
2. 住まいについて	7
3. 収入・生活費について	33
4. 家賃やローンの支払いについて	0
5. 税金や公共料金の支払い	1
6. 債務について	1

7. 仕事探し、就職について	2
8. 仕事上の不安やトラブル	0
9. 地域との関係について	10
10. 家族との関係について	19
11. 子育てについて	1
12. 介護について	0
13. ひきこもり・不登校について	11
14. DV・虐待について	3
15. 食べるものがない	5
16. その他	22
合計	133

・医療に関すること、収入や生活費に関すること、人間関係に関することが多かった。

⑤チームミーティングの開催

7回開催した。

- ・運営体制の確認、隙間のニーズ（大掃除やペットの問題等）に対応できる地域資源の共有、個別支援の視点＋地域づくりを意識した相談対応の重要性の確認等を行った。
- ・ビジネスチャットツールを導入し、社協事務局内で職員同士が相談しやすくする仕組みや情報発信の場づくりに取り組んだ。
- ・ミーティング以外にも、ケースカンファレンスや社内メールにてケース検討や情報共有をはかった。

2 生活福祉資金貸付事業

低所得者、障害者もしくは高齢者のいる世帯の生活の安定と経済的自立を図るため、資金の貸付と必要な相談支援を行った。また、令和2年3月25日より新型コロナウイルス感染症の影響による休業や失業で生活資金にお困りの方への緊急小口資金・総合支援資金の特例貸付を開始した。東社協受託事業。

（1）貸付相談

（2）償還相談

①貸付・償還等相談件数（項目重複あり、来所・電話相談等、延べ件数）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
福祉費	2	5	14	11	4	3	0	8	6	9	6	5	74
教育支援資金	8	15	14	11	4	3	52	27	60	33	81	36	344
緊急小口資金	66	13	6	11	6	3	5	13	3	0	0	4	130
総合支援資金・ 離職者支援資金	3	7	0	6	2	1	0	3	5	1	0	1	29
不動産・ 要保護不動産 担保型貸付資金	0	0	2	2	3	2	7	11	5	5	2	2	41

②貸付実績報告（辞退含まず） ※貸付決定 39 件（新型コロナ特例貸付を除く）

資金種類			貸付決定 件数	貸付決定金額	
生活福祉資金	福祉資金 ※	障害者用自動車の購入に必要な経費	0 件	0 円	
		住居の移転等に必要な経費	0 件	0 円	
		生活保護受給者の国民年金の任意加入により納める保険料の経費	0 件	0 円	
		生活保護受給世帯の生活必需品等の購入に必要な費用	3 件	257,000 円	
		技能習得に必要な経費	1 件	240,000 円	
	緊急小口資金		0 件	0 円	
	教育支援資金	教育支援費	22 件	24,177,000 円	
		就学支度費	13 件	2,775,000 円	
	総合支援資金	生活支援費	生活再建までの生活費用（12ヶ月以内）	0 件	0 円
		住宅入居費	敷金・礼金等住宅の賃貸契約を結ぶ為に必要な費用	0 件	0 円
		一時生活再建費	生活再建の為に一時的に必要な費用	0 件	0 円
	不動産担保型生活資金	不動産担保型生活資金		0 件	0 円
		要保護世帯向け不動産担保型生活資金		0 件	0 円
臨時特例つなぎ資金		住居のない離職者が公的給付・貸付を受けるまでの生活費	0 件	0 円	

※福祉資金・福祉費は貸付実績のある資金種類のみを掲載。

③債権管理

償還促進のため、東京都社会福祉協議会からの発行帳票を送付する際に電話訪問を適宜行い、償還状況を確認しながら救済制度の適用を図った。

④救済制度 計 8 件

貸付対象の世帯は様々な生活上の課題を抱えており、借受世帯の安定や自立促進のために、償還猶予や延滞利子免除の適用検討・手続きを行った。また、償還が見込めず適格要件を満たす世帯に対して、償還免除の検討を行った。

償還猶予	延滞利子免除	償還免除
6 件	0 件	2 件

⑤関係機関との連携強化

◇民生委員・児童委員協議会

合同及び地区定例会へ適宜参加し、事業周知をすすめるとともに、貸付世帯の情報共有を行った。なお、民生委員による生活福祉資金借受世帯への支援状況を確認するため、例年は地区会長 5 名による支援記録票の点検を行っているが、今年は新型コロナウイルス感染拡大防止のため 中止とした。

◇連携会議

相談の調整をスムーズに図ることができるよう、ほっとシティ東村山（自立相談支援機関）と相談支援体制や各種施策の状況・動向について意見交換を行った。生活福祉課相談支援係（母子相談）とは今年度に限り連携会議を行わず、適宜ケース連絡と情報交換を行っている。

日にち	相手先	内容等
令和2年7月16日(木)	生活福祉課自立相談係、 ほっとシティ東村山	・新型コロナウイルス特例貸付の対応 ・関連施策の状況・動向、相談対応の状況

⑥会議、研修

今年度は会議の実施が見送られ、新任職員研修については動画配信により行われた。

項目	出席者数	公開日時	内容
令和2年度 生活福祉資金新任職員研修	1名	8月31日	・生活福祉資金貸付制度のしくみと今日の動向 ・貸付業務の基本 ・各資金の概要と相談対応の流れ（福祉資金、緊急小口資金、総合支援資金）

（3）新型コロナウイルス感染症に係る特例貸付相談及び申請

新型コロナウイルス感染症に係る特例貸付は、緊急の事態であることから通常的生活福祉資金貸付事業より条件が緩和されている。そのため感染拡大の影響で生活が困窮した様々な世帯（ひとり親、多子世帯、外国籍世帯、高齢世帯など）からの相談・申請が現在も続いている。

特に、個人事業主や飲食、観光、建築、運送業界への影響は大きく、開始直後から相談・申請が多かった。

また、当初は令和2年7月末に受付終了予定とされたが、緊急事態宣言の延長や感染再拡大、再度の緊急事態宣言発出などが続き一向に収束しないことから、終了予定は4回も延長された（令和3年6月末終了予定）。

このような中、新型コロナウイルス感染症に罹患し、買い物に行けないひとり親世帯からの相談があり、東村山市社会福祉法人連絡会が行っていたフードドライブ事業に協力してもらい、お米やレトルトカレー、缶詰など食料を届けに行くケースもあった。

①貸付相談（来所・電話相談等、延べ件数）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
緊急小口資金	316	656	354	222	186	104	96	148	120	116	266	388	2,972
総合支援資金		112	258	354	260	336	148	72	102	136	80	180	2,038
総合支援資金 延長貸付				92	208	242	204	252	174	262	132	48	1,614
総合支援資金 再貸付											1008	618	1,626

②貸付実績報告（辞退含まず）

資金種類		貸付決定件数	貸付決定金額
コロナ特例貸付	緊急小口資金 (1)	1,486 件	275,980,000 円
	総合支援資金 (2)	1,019 件	536,390,000 円
	総合支援資金延長 (3)	624 件	330,550,000 円
	総合支援資金再貸付 (4)	338 件	60,350,000 円

※緊急小口資金は申請受付件数・金額を記載

※種類別内容

- (1)・・・新型コロナウイルス感染症の影響を受け、休業等による収入の減少があり、緊急かつ一時的な生計維持のための貸付を必要とする世帯への貸付。(上限 20 万円)
- (2)・・・新型コロナウイルス感染症の影響を受け、収入の減少や失業等により困窮し、日常生活の維持が困難になっている世帯への貸付。
(2人以上世帯月額 20 万円、単身月額 15 万円以内 貸付期間 3 か月以内)
- (3)・・・総合支援資金の初回貸付を受けたが、引き続き新型コロナウイルス感染症の影響による減収や失業等により日常生活の維持が困難となっている世帯への貸付。
(2人以上世帯月額 20 万円、単身月額 15 万円以内 貸付期間 3 か月以内)
- (4)・・・令和 3 年 6 月までに (1) 及び (2) の貸付が終了している世帯、あるいはそれらに加えて (3) の貸付も終了している世帯への貸付。令和 3 年 2 月 19 日より受付開始。
(2人以上世帯月額 20 万円、単身月額 15 万円以内 貸付期間 3 か月以内)

3 ひとり親家庭高等職業訓練促進資金貸付事業

母子父子家庭高等職業訓練促進給付金を活用して養成機関に在学、資格取得を目指すひとり親家庭の親を対象とし、入学準備金・就職準備金を貸し付ける。地区社協は申込書・借用書の收受、送付業務を行う。東社協受託事業。今年度については、利用申し込みはなかった。

相談件数	入学準備金	就職準備金
0 件	0 件	0 件

4 応急小口資金貸付事業

低所得世帯が不測の事態により、緊急かつ一時的に生活資金が必要になった際に貸付を行った。また、ほっとシティ東村山による自立相談支援利用者に関しては柔軟に対応した。未償還者に対しては個別に連絡を試み、反応のない世帯には督促状を発行した。社協独自事業。

①貸付・償還件数及び金額

(件数及び金額は延べの数字)

貸付件数	貸付金額	償還件数	償還金額
122 件	1,526,418 円	128 件	1,437,951 円

※前年度以前の貸出金の償還も含む。

②相談経路

生活福祉課	27 件
ほっとシティ	44 件
以前貸付利用	29 件
基幹相談支援センター	4 件
市役所（生活福祉課以外）	2 件
他の資金の相談	14 件
その他	2 件
合計	122 件

③世帯状況

生活保護申請中	8 件
生活保護受給中	26 件
就労中	58 件
障害年金受給中	1 件
老齢年金受給中	2 件
無職	24 件
その他	3 件
合計	122 件

④運営委員会

出席：運営委員 4名（社協理事） ※1名欠席

今年度は新型コロナウイルスの影響で減収・離職した世帯からの相談が多く入っていたため、上半期の報告もあわせて10月に開催した。

日にち	会場	内容
令和2年10月30日（金）	地域福祉活動室	令和元年度事業報告、令和2年度上半期事業報告、償還免除について、意見・情報交換等

5 中部地域包括支援センター（基幹型）

（1）地域型地域包括支援センターの統括

項目	実績
各地域型包括支援センターの統括	<ul style="list-style-type: none"> ・4月より市内地域包括支援センター全体のシステム変更に伴い、入力方法や月報入力に関するマニュアルを作成した。 ・新型コロナウイルス感染症への対応について、市内包括支援センターの対応方法等を市所管と相談しながら統一を図った。
保険者・地域型地域包括支援センターとの会議体の企画・運営	定例協議 12回 実務リーダー会議 11回 虐待対応・関係機関連携強化会議 5回 地域ケア会議「高齢者虐待発見シート提出後の流れ」の開催支援 （11月13日69名出席）

（2）介護予防・生活支援体制整備事業の支援

項目	実績
生活支援コーディネーターの活動支援	<ul style="list-style-type: none"> ・市所管との定例協議 12回 ・生活支援CO会議 12回 ・その他打ち合わせ等 3回 ・各地域型包括支援センターと社会福祉協議会まちづくり支援係との連携会議に参加

自立支援型地域ケア会議の開催支援	<ul style="list-style-type: none"> ・自立支援型地域ケア会議 5回 ・事前準備 5回 ・自立支援型地域ケア会議担当者研修「地域ケア会議から抽出された課題をどう生かすか」(1月21日) <p>: 利用者の自立に向けた動機付けの方法を、理学療法士・歯科医師・管理栄養士も交えたケースカンファレンスで検討した。また、そこから得られた課題の抽出を行った。</p>
------------------	---

(3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援

項目	実績
介護保険事業者連絡会の支援	<ul style="list-style-type: none"> ○居宅介護支援事業者連絡会(会員事業所52カ所) 総会(書面)4月17日 役員会10回 研修会9回 アンケート4回 ・主任介護支援専門員部会(ケアプラン点検担当・研修企画担当・制度業務担当)の運営支援(書面総会、打ち合わせなど15回) ケアプラン点検支援(13チーム) ○訪問介護事業者連絡会(会員事業所27カ所) 総会(書面)4月15日 役員会3回:Zoom開催 サービス提供責任者部会8回:Zoom開催 アンケート3回 今年度よりWebツールを導入。情報交換等に利用した。 ○通所サービス事業者連絡会(会員事業所46カ所) 総会4月に書面開催 役員会2回:Zoom開催(5/22、9/24、12/16、3/8) 連絡会への連絡や細かいうちあわせはWEBツールを利用した。
介護保険事業者連絡会同士の連携支援	<ul style="list-style-type: none"> ○東村山市介護事業者等ネットワーク 役員会1回(9月29日) <p>: 新型コロナウイルス感染症の流行に伴う、各連絡会での対応や困りごとを共有した。</p>

(4) 専門的な支援の展開

項目	実績
在宅医療・介護連携の体制構築支援	<ul style="list-style-type: none"> ○在宅療養支援窓口会議 6回 ○研修会 3回 ・令和2年度 第1回 多職種連携研修会 33名参加 (8/19開催) 「新型コロナウイルスの感染症の基本を学ぼう！」 ・令和2年度 第2回 多職種連携研修会 48名参加 (10/28 Zoom開催) 「CM・包括・薬剤師の連携を深める」 ・令和2年度 地域ケア会議(5圏域合同) 44名参加 (3/29 Zoom開催) 「在宅療養支援窓口と助言担当医等との連携」 ○医療介護連携推進委員会への出席 3回 (1回は書面開催)

認知症のある方に対する支援についての相談	○相談件数 実人数 20名 延人数 23名 ○会議への参加 ・認知症初期集中支援部会（9月30日・オンライン） ・東村山市医療・介護連携推進委員会 ・初期集中支援チーム会議 ○認知症普及啓発講演会「まち×ひと×認知症 ともにつながる東村山」 30名参加（11/22 市民センター） ○認知症サポーターオンライン交流会 28名参加（3/17 Zoom開催）
----------------------	---

6 中部地域包括支援センター（地域型；本町・久米川町・恩多町担当）

（1）総合相談支援

項 目	実 績																																									
日常的な相談支援	①相談件数 (件) <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th> <th>電話</th> <th>訪問</th> <th>来所</th> <th>メール・ファックス</th> <th>その他</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>回数</td> <td>4625</td> <td>2332</td> <td>381</td> <td>236</td> <td>36</td> <td>7610</td> </tr> <tr> <td>(%)</td> <td>60.7</td> <td>30.6</td> <td>5.0</td> <td>3.1</td> <td>0.6</td> <td>100.0</td> </tr> </tbody> </table>		電話	訪問	来所	メール・ファックス	その他	合計	回数	4625	2332	381	236	36	7610	(%)	60.7	30.6	5.0	3.1	0.6	100.0																				
		電話	訪問	来所	メール・ファックス	その他	合計																																			
回数	4625	2332	381	236	36	7610																																				
(%)	60.7	30.6	5.0	3.1	0.6	100.0																																				
②相談内容 相談内容では、介護保険利用および認定申請に関する相談が全体の約半数を占めている。 <div style="text-align: center; margin-top: 10px;"> <table border="1" style="margin: 0 auto; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <caption>相談内容の件数</caption> <thead> <tr> <th>相談内容</th> <th>件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>介護保険申請</td><td>1247</td></tr> <tr><td>サービス改善要望</td><td>34</td></tr> <tr><td>サービス利用</td><td>819</td></tr> <tr><td>予防プラン関係</td><td>411</td></tr> <tr><td>施設入所</td><td>156</td></tr> <tr><td>保険医療</td><td>195</td></tr> <tr><td>助言担当医・歯</td><td>9</td></tr> <tr><td>経済問題</td><td>76</td></tr> <tr><td>配食</td><td>95</td></tr> <tr><td>経過的支援</td><td>674</td></tr> <tr><td>介護に関する支援</td><td>29</td></tr> <tr><td>CM支援</td><td>106</td></tr> <tr><td>虐待・権利擁護</td><td>219</td></tr> <tr><td>成年後見・地権</td><td>71</td></tr> <tr><td>家族への支援</td><td>77</td></tr> <tr><td>安否確認</td><td>52</td></tr> <tr><td>見守り</td><td>80</td></tr> <tr><td>認知症の相談</td><td>201</td></tr> <tr><td>その他・総合相談</td><td>742</td></tr> <tr><td>住宅改修・福祉</td><td>147</td></tr> </tbody> </table> </div>	相談内容	件数	介護保険申請	1247	サービス改善要望	34	サービス利用	819	予防プラン関係	411	施設入所	156	保険医療	195	助言担当医・歯	9	経済問題	76	配食	95	経過的支援	674	介護に関する支援	29	CM支援	106	虐待・権利擁護	219	成年後見・地権	71	家族への支援	77	安否確認	52	見守り	80	認知症の相談	201	その他・総合相談	742	住宅改修・福祉	147
相談内容	件数																																									
介護保険申請	1247																																									
サービス改善要望	34																																									
サービス利用	819																																									
予防プラン関係	411																																									
施設入所	156																																									
保険医療	195																																									
助言担当医・歯	9																																									
経済問題	76																																									
配食	95																																									
経過的支援	674																																									
介護に関する支援	29																																									
CM支援	106																																									
虐待・権利擁護	219																																									
成年後見・地権	71																																									
家族への支援	77																																									
安否確認	52																																									
見守り	80																																									
認知症の相談	201																																									
その他・総合相談	742																																									
住宅改修・福祉	147																																									

③予防給付

担当圏域内で、介護保険サービスの利用を希望する要支援認定者及び事業対象者に対して、介護予防ケアマネジメントを実施した。また、利用者の同意が得られ事業所も受入が可能なケースについては、居宅介護支援事業所へ委託した。委託は全体の64.3%であった。ケアマネジメント件数は昨年度より263件増えている。また、委託を受け入れる事業所が減少しており、昨年度よりも委託率が低下している。

介護予防ケアマネジメント件数 (件)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
件数	475	474	507	493	505	505
うち委託	326	335	332	314	324	323
10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
512	527	515	504	513	525	6055
322	335	323	315	319	326	3894

担当圏域の民生委員との連携

地域住民から受けた相談や、民生委員自身が気付いた地域課題について随時連絡を頂き、必要に応じて対象者への訪問・見守り等を行った。
地域包括支援センターの業務について理解を深め、新型コロナウイルス感染症下での地域活動の状況について情報交換を行う為、11月30日に地域ケア会議(担当地域部会)を開催した。

民生委員不在地区訪問の実施

新型コロナウイルス感染症の影響により対象地区への訪問は行わず、独居及び高齢者のみ世帯に対し、緊急連絡先の確認用書類を投函した。

広報紙の発行

広報紙を発行、地域の高齢者及び関係者・関係団体(自治会・福祉協力店・民生委員・高齢者サロン・福祉団体など)に配布した。新型コロナウイルス感染症の流行に鑑み、直接の手渡しは避け、ポストへ投函していく配布方法をとった。感染症対策記事につき、多くの方に手にとってもらい、増刷することになった。

号数	内容
春号 6月発行 冬号 12月発行	特集；新型コロナウイルス感染症対策、フレイル予防 特集；新型コロナウイルス感染症対策、フレイル予防 パート2

(2) 包括的・継続的ケアマネジメント支援

項目	実績																														
担当圏域の介護支援専門員への支援	<p>担当地域の介護支援専門員が利用者に寄り添い、その人らしい日常生活を営むことを支援できるように介護支援専門員に対して支援を行った。</p> <p>①ケアプラン点検 10月実施</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>事例提供</th> <th>点検者</th> <th>1回目</th> <th>2回目</th> <th>3回目</th> <th>場所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>大平 (ACT)</td> <td>福永・須永・丸</td> <td>10/14</td> <td>10/21</td> <td>10/28</td> <td>社協</td> </tr> <tr> <td>鯨臥 (かる)</td> <td>仁平・立石・弓野</td> <td>10/5</td> <td>10/12</td> <td>10/19</td> <td>かるがも</td> </tr> <tr> <td>藤原 (ふれ)</td> <td>生田目・中井</td> <td>10/13</td> <td>10/20</td> <td>10/27</td> <td>社協</td> </tr> <tr> <td>岡本 (ウイズ)</td> <td>竹岡・中島</td> <td>10/20</td> <td>10/22</td> <td></td> <td>ウイズ</td> </tr> </tbody> </table> <p>下半期 2 月開催予定であったケアプラン点検は、新型コロナウイルス感染症予防のため開催を見送り、来年度 6 月へ延期となった。</p> <p>②介護支援専門員への支援 地域の介護支援専門員からの相談に応じ、延べ 106 件の個別相談を行った。</p>	事例提供	点検者	1回目	2回目	3回目	場所	大平 (ACT)	福永・須永・丸	10/14	10/21	10/28	社協	鯨臥 (かる)	仁平・立石・弓野	10/5	10/12	10/19	かるがも	藤原 (ふれ)	生田目・中井	10/13	10/20	10/27	社協	岡本 (ウイズ)	竹岡・中島	10/20	10/22		ウイズ
事例提供	点検者	1回目	2回目	3回目	場所																										
大平 (ACT)	福永・須永・丸	10/14	10/21	10/28	社協																										
鯨臥 (かる)	仁平・立石・弓野	10/5	10/12	10/19	かるがも																										
藤原 (ふれ)	生田目・中井	10/13	10/20	10/27	社協																										
岡本 (ウイズ)	竹岡・中島	10/20	10/22		ウイズ																										
地域の連携体制の構築	<p>担当地域の医療・介護、その他の関係者が協働できるような地域の関係機関の連携体制の構築に努めた。</p> <p>①地域ケア会議</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>月 日</th> <th>テーマ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>8 月 17 日</td> <td>認知症の独居者との関わり方、情報共有 (個別ケース)</td> </tr> <tr> <td>10 月 13 日</td> <td>感染症対策、新型コロナウイルスに焦点を当てて ※多摩小平保健所主催の研修内容の伝達研修</td> </tr> <tr> <td>11 月 13 日</td> <td>高齢者虐待発見支援シート提出後の流れ (多職種連携) ※包括 5 圏域合同で開催</td> </tr> <tr> <td>11 月 30 日</td> <td>中部圏域の民生委員との情報共有 (担当地域部会)</td> </tr> <tr> <td>3 月 29 日</td> <td>在宅療養支援窓口と助言担当医との連携 (多職種連携) ※包括 5 圏域合同で開催、感染症防止策として Zoom 会議</td> </tr> </tbody> </table> <p>②在宅療養支援窓口の利用 13 件 (助言担当医への相談、往診依頼、地域ケア会議への参加等)</p>	月 日	テーマ	8 月 17 日	認知症の独居者との関わり方、情報共有 (個別ケース)	10 月 13 日	感染症対策、新型コロナウイルスに焦点を当てて ※多摩小平保健所主催の研修内容の伝達研修	11 月 13 日	高齢者虐待発見支援シート提出後の流れ (多職種連携) ※包括 5 圏域合同で開催	11 月 30 日	中部圏域の民生委員との情報共有 (担当地域部会)	3 月 29 日	在宅療養支援窓口と助言担当医との連携 (多職種連携) ※包括 5 圏域合同で開催、感染症防止策として Zoom 会議																		
月 日	テーマ																														
8 月 17 日	認知症の独居者との関わり方、情報共有 (個別ケース)																														
10 月 13 日	感染症対策、新型コロナウイルスに焦点を当てて ※多摩小平保健所主催の研修内容の伝達研修																														
11 月 13 日	高齢者虐待発見支援シート提出後の流れ (多職種連携) ※包括 5 圏域合同で開催																														
11 月 30 日	中部圏域の民生委員との情報共有 (担当地域部会)																														
3 月 29 日	在宅療養支援窓口と助言担当医との連携 (多職種連携) ※包括 5 圏域合同で開催、感染症防止策として Zoom 会議																														

(3) 地域ネットワーク構築

項目	実績								
認知症サポーター養成講座の開催	<p>下半期実績</p> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>10 月 26 日、27 日</td> <td>イトーヨーカ堂東村山店</td> </tr> <tr> <td>10 月 30 日</td> <td>東村山市民スポーツセンター</td> </tr> <tr> <td>12 月 1 日</td> <td>久米川町保健推進委員</td> </tr> <tr> <td>2021 年 3 月 26 日、30 日</td> <td>(株) 第一生命保険東村山営業所他</td> </tr> </tbody> </table> <p>感染症対策として、人数の制限やグループワークの中止、オンラインやハイブリッドの実施形態を取った。</p>	10 月 26 日、27 日	イトーヨーカ堂東村山店	10 月 30 日	東村山市民スポーツセンター	12 月 1 日	久米川町保健推進委員	2021 年 3 月 26 日、30 日	(株) 第一生命保険東村山営業所他
10 月 26 日、27 日	イトーヨーカ堂東村山店								
10 月 30 日	東村山市民スポーツセンター								
12 月 1 日	久米川町保健推進委員								
2021 年 3 月 26 日、30 日	(株) 第一生命保険東村山営業所他								

協議体の開催	<p>○高齢者の生活課題に関するアンケート調査</p> <p>第2層生活支援コーディネーターの活動目標として、「各地域住民の生活実態とニーズの把握」「生活支援サービスの創出」がある。昨年度より前者の把握を目的としたアンケートを生活支援コーディネーター会議の中で作成し、今年度はそれを実施し、各圏域でどのような生活課題やニーズがあるのかを把握していくことになった。しかし、新型コロナウイルス感染症の拡大により、住民の方々も集まらない状況の中、どのように実施していけばいいのか模索が続いた。</p> <p>感染症の拡大が徐々に落ち着いてきた年度後半、いくつか協力してくれる団体が出て来て、アンケートを実施する事ができた。</p> <p>アンケート実施団体 3団体（マンション管理組合2団体、都営自治会1団体） 結果の報告会 1団体</p>
見守りネットワークの支援	<p>○高齢者見守りネットワーク「本町だいじょうぶだぁネット」</p> <p>まちづくり支援係と連携して、本町高齢者の見守りネットワーク「本町だいじょうぶだぁネット」の運営支援を行った。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響で直接集まれないため、5月に郵送による総会を行った。</p> <p>見守り活動助成の申請手続きの支援を行った。</p> <p>運営委員会を3回開催した（うち1回は感染予防のためリモート開催とした）</p> <p>○活動の連携支援</p> <p>介護予防大作戦2020の地区推進委員会に、参加した。</p> <p>久米川町； 9月17日（木）10時～12時（於；憩いの家） 11月 9日（月）10時～12時（於；憩いの家） 本 町； 11月11日（水）10時～12時（於；地域福祉活動室）</p>
介護予防活動連携支援	<p>○新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、活動休止中のサロンスタッフに連絡を取り、休止中の状況確認や困りごとの把握等を行った。（42ヶ所）</p> <p>○年度の後半、市より提供のあった衛生物品を各サロンに配布した。（35ヶ所）</p> <p>○新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、活動休止中の地域活動団体の再開に向けての相談を実施し、共に再開の道筋を探る支援を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・にちよう食堂 ・元気アップはなみずき ・サロン久米川1丁目元気アップ体操 ・久米川町元気アップ体操「萌木」 ・はつらつグリーンサロン ・本町元気塾 ・本町フレンズ塾 ・本町サロン ・こんにやくサロン ・カフェ和み

	○地域包括支援センターのPR・高齢者福祉の理解等を図るため、関係機関等からの依頼に応じて広報啓発活動やミニ講座を実施するとともに、地域のサロン活動等に参加した。 ・サロン活動等の参加（包括の紹介、広報誌の配付等） 71回
まちづくり支援係との連携	○まちづくり支援係との連携会議を定例開催（12回）し、圏域の情報交換や地域課題について、協議体の持ち方などについて検討を行った。

（４）その他の業務

諸会議等への参加	新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、中部エリア内の介護事業所が行う運営推進会議が開催されず、会議への参加は無かった。
実習受入	社会福祉士実習の受け入れを行った。

7 東村山市基幹相談支援センター

基幹相談支援センターとして、特定相談支援事業所等関係機関からの相談を受け、カンファレンスの設定・参加、ケース活動の支援等の他、東村山市障害者自立支援協議会の事務局として各種会議の運営にあたった。

令和2年度より新たに地域生活支援拠点のコーディネート業務に取り組むこととなった。自立支援協議会地域生活支援部会を主に、拠点事業所一覧の作成など、拠点事業者のネットワークづくりに取り組んだ。

（１）基幹相談支援センター

①一般的な相談支援（障害者相談支援事業）

相談支援を利用している障害者等の人数

	実人員	身体	重身	知的	精神	発達	高次脳	その他
障害者	316	34	0	129	112	5	4	32
障害児	4	0	0	3	1	0	0	0
計	320	34	0	132	113	5	4	32

支援方法

	訪問	来所	同行	電話等	個別支援 会議	関係機関	その他	計
件数	752	686	741	3258	88	1481	161	7167

支援内容

	福祉サービスの利用等に関する支援	障害や病状の理解に関する支援	健康・医療に関する支援	不安の解消・情緒安定に関する支援	保育・教育に関する支援	家族関係・人間関係に関する支援	家計・経済に関する支援	生活技術に関する支援	就労に関する支援
件数	1358	360	1172	893	20	609	930	1934	409
	社会参加・余暇活動に関する支援	権利擁護に関する支援	その他	計					
件数	76	330	237	8328					

②指定特定相談支援事業所等の支援

指定特定相談支援事業所が担当しているケースカンファレンスに参加・助言・ケース支援等を行った。

- ・親亡き後の支援体制の確認
- ・触法障害者の支援体制の調整
- ・カンファレンスの開催に向けた連絡調整、参加・助言
- ・サービス等利用計画の点検・助言
- ・愛の手帳や障害年金の申請に向けた支援
- ・(人材育成)「障害年金学習会」12月11日(金)15:00~21:00

③地域移行推進のための体制整備事業

④障害者虐待の防止、早期発見のための事業

通報にもとづき、市とともに事業所等へ訪問調査を行った。

⑤成年後見制度利用支援事業

⑥東村山市障害者自立支援協議会の運営

- ・定例会の開催

回	月 日	内 容
1	8月11日(火) 14:00~16:00	令和2年度活動テーマ、専門部会報告、研修会の実施について、福祉人材確保の取り組みについて
2	12月25日(金) 14:00~15:10	・自立支援協議会研修報告、専門部会等の活動内容の報告 ・障害福祉計画についての意見聴取
3	3月29日(月) 14:00~15:30	・令和3年度活動テーマ、専門部会報告

・相談支援部会の開催（毎月第3木曜10：00～12：00）

回	月 日	内 容
1	4～6月	※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
2	7月16日	・年間予定について
3	9月17日	・情報交換
4	11月19日	・社協 地域権利擁護事業の紹介、部会間交流会報告、情報交換
5	12月17日	・情報交換
6	1月21日 (書面開催)	・近況、相談業務について困っていること・事例、「地域生活支援拠点」資料についての疑問点
7	2月18日	・令和3年度の取り組みテーマ
8	3月18日	・基幹相談支援センターについて、地域生活支援拠点について、令和3年度取り組みテーマと予定について

・就労支援部会の開催（毎月第4水曜15：00～16：30）

回	月 日	内 容
1	5月	※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
2	7月29日	・令和2年度の進め方について、自粛期間中の各機関の困りごとの共有
3	9月30日	・「コロナ禍の利用者支援」についてアンケートの作成
4	11月30日	・「コロナ禍における利用者支援アンケート」結果についての検討
5	1月25日 (書面開催)	・就労や就労を継続していく上での諸課題についての意見交換、次年度の部会テーマについて
6	2月26日	(臨時開催) アセスメントの導入について、市報掲載について
7	3月22日	・令和3年度のテーマと内容について

・地域生活支援部会の開催

回	月 日	内 容
1	8月27日(木) 14:00～16:00	・令和2年度の活動テーマ、スケジュールについて ガイド冊子の作成について
2	11月27日(金) 14:00～15:30	・地域生活支援拠点取り組みシート作成について、 人材確保と育成について、情報交換
3	1月29日(金) (書面開催)	・人材確保の取り組みについて自立支援協議会でできるとよいこと、 地域にあるとよいと思うこと
4	3月30日(火) 14:00～15:30	・令和3年度の活動について、人材育成・人材確保の取り組みについて、 情報交換

・自立支援協議会研修会の開催

日 時：令和2年10月27日(火) 18：00～19：30

場 所：社会福祉協議会 地域福祉活動室

内 容：感染症とその予防・対策について

講 師：大石 勉氏(秋津療育園 園長)

参加者：14名

・その他

運営会議：4月9日、6月16日、12月7日、2月26日

部会間交流会：10月15日（木）各部会の活動報告等

東京都地域自立支援協議会交流会「当事者が「語る」ことを「聴く」には？」参加

⑦地域生活支援拠点のコーディネート業務

⑧地域の関係機関等への支援

- ・福祉事務所実習生訪問
- ・東村山市精神保健福祉ケア検討会
- ・東京都相談支援従事者初任者研修 受講生実習対応

⑨ヘルプカードの周知・配布活動

(2) 一般相談支援事業

地域相談支援契約者数

- ・地域移行支援：0件
- ・地域定着支援：2件

(3) 障害者の余暇活動の支援

①日曜くらぶ

主に知的障害や身体障害のある障害者を対象に、余暇活動支援を目的として実施。

登録者：28名

日時	主な内容	場所	参加者	職員他
5月	※新型コロナウイルス感染 拡大防止のため中止	—	—	—
7月19日 10:00~12:00	映画鑑賞	社協 地域福祉活動室	9名	3名
9月27日 10:00~12:00	輪投げ	社協 地域福祉活動室	10名	4名
12月13日 10:20~12:00	ボウリング	久米川ボウル	11名	4名
3月	※新型コロナウイルス感染 拡大防止のため中止	—	—	—

②「おしゃべり会」(毎月第2月曜 10:00~12:00/るーと活動室)

身体障害や難病を抱える方を対象に、日常生活課題等の意見や情報交換、交流の場を提供。

- ・実施日(3回)；7/13、8/3、9/14、10/12、11/9、12/14
- ・※4~6月、令和3年1~3月は新型コロナウイルス感染防止のため、中止とした。
- ・参加者；17名(延べ)

(4) 関係機関とのネットワーク活動

①居宅介護サービス事業者交流会（隔月第3金曜日18：30～）

月 日	内容	担当事業所
4月	※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	
6月	※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	
8月21日	「コロナ禍の課題」	るーと
10月16日	・共通様式「居宅介護計画様式」の確認とその他評価様式の検討	
12月18日	・評価様式の検討、困りごとについて	
2月	※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	
3月	（書面開催）	

②各種会議への参加

- ・東村山市障害者福祉計画推進部会
- ・精神障害者地域移行体制整備支援事業情報交換
- ・高次脳機能障害者支援促進事業連絡会議
- ・成年後見制度初期窓口ネットワーク会議（書面開催）
- ・東村山市精神保健福祉ケア検討会
- ・都内基幹相談支援センター連絡会（Zoom開催）
- ・清瀬特別支援学校 学校運営連絡協議会
- ・東村山市児童デイサービス事業所連絡会議
- ・五者連携会議
- ・東村山いのち支える自殺対策推進協議会

（5）情報提供・広報・啓発活動

- ・福祉だより記事作成（ヘルプカード、自立支援協議会）等

8 福祉サービス総合支援事業（地域福祉権利擁護事業含む）

市内に在住する要援護者が福祉サービスを利用して、安心して地域で暮らしていけるように、福祉サービスに関する利用相談、成年後見制度の利用相談、福祉サービスの利用に際しての苦情対応、判断能力が不十分な方々の権利擁護相談等の支援を総合的・一体的に提供する窓口を設置し、地域福祉権利擁護事業と一体的に運営した。

（1）利用者サポート

①福祉サービスの利用に際しての苦情対応（介護保険制度を除く）：1件

②判断能力の不十分な方々の権利擁護相談（新規）

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2	0	3	5	2	4	5	1	1	4	1	2	30

③成年後見制度の利用相談 ⇒成年後見制度推進事業相談実績を参照

④その他福祉サービス利用に関する専門的な相談 0件

(2) 福祉サービス利用援助事業

①地域福祉権利擁護事業

認知症の高齢者・知的障害者・精神障害者等の判断能力が不十分な方々に対し、地域で自立した生活を維持できるよう支援した（福祉サービス利用援助サービス、日常的金銭管理サービス、書類等預かりサービス）。

ア) 契約者数（令和3年3月末現在）

※（ ）内は前年度数値

種別	認知症 高齢者	知的 障害者	精神 障害者	不明 その他	合 計
契約者	41 (46)	23 (20)	20 (18)	6 (7)	90 (91)
うち生活保護 受給者	9	11	10	1	31

イ) 新規契約者数

種別	認知症 高齢者	知的 障害者	精神 障害者	不明 その他	合 計
契約者	11	3	4	1	19

ウ) 終了・解約者数

理由	死亡	施設入所 長期入院	判断能力低下 (内、後見人等へ引継)	本人自立	その他	合 計
契約者	5	5	5 (5)	2	3	20

エ) 相談支援件数（未契約支援も含む）

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合 計
問合せ (制度・事業について)	5	2	1	2	4	4	7	10	7	7	7	2	58
初回利用相談	1	2	3	3	5	3	4	3	3	8	10	4	49
継続相談 支援	358	279	418	336	306	338	365	300	352	282	315	406	4055
合計	364	283	422	341	315	345	376	313	362	297	332	412	4162

②対象拡大事業

地域福祉権利擁護事業の対象を、判断能力を有する要支援・要介護高齢者並びに身体障害者等にも拡大し、福祉サービスの利用援助や日常的な金銭管理、書類預かりなどの援助を行い、地域で自立した生活が送れるよう支援した。

7) 契約者数（令和3年3月末現在）

※（ ）内は前年度数値

認知症 高齢者	知的 障害者	精神 障害者	身体 障害者	不明 その他	合 計
1 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (1)

1) 相談支援件数（未契約支援も含む）

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合 計
問合せ (制度・事業について)	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
初回利用相談	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
継続相談 支援	1	0	1	0	2	0	1	0	1	0	3	0	9
合計	1	0	1	0	2	0	1	0	2	0	3	0	10

(3) 苦情対応専門相談

弁護士による専門相談を実施。利用者支援の各相談窓口から引き継いだ苦情及び権利擁護相談に関して専門的見地からの助言等を行っている。

【相談日時】毎月第4金曜日（14時～16時 30分×4コマ）

【場 所】社会福祉協議会内相談室

【専門相談員】弁護士1名（多摩パブリック法律事務所より派遣）

◆相談件数

種別	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合 計
高齢者	0	0	1	1	0	1	2	1	4	2	0	2	14
知的 障害者	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	1	0	5
精神 障害者	0	1	0	2	0	1	0	0	0	0	0	2	6
身体 障害者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
不明・ その他	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
合計	1	2	2	4	0	3	2	1	4	2	1	4	26

※4月のみ新型コロナウイルス感染拡大防止のため、電話相談での実施

(4) 会議・研修等

①専門員・業務担当者研修

日付	研修・会議名	主催	参加者
7/20 (月) 27 (月)	令和2年度 地域福祉権利擁護事業 新任専門員・業務担当者研修 (オンライン)	東京都社会福祉協議会	1名
7/21 (火)	地域福祉権利擁護事業 事務説明会 「専門員マニュアル」 令和2年3月改訂版の主な変更点 (オンライン)	東京都社会福祉協議会	3名
11/17 (火)	令和2年度 地域福祉権利擁護事業 専門員フォローアップ研修 「アセスメントについて」 (オンライン)	東京都社会福祉協議会	1名
2/19 (金)	令和2年度 地域福祉権利擁護事業 専門員研修 「知的障害のある方の生活を支えるために」 (オンライン)	東京都社会福祉協議会	2名
2/1 (月) 2/26 (金)	令和2年度 地域福祉権利擁護事業 専門員研修 「年金制度」(動画配信)	東京都社会福祉協議会	3名
3/15 (月)	令和2年度 日常生活自立支援事業 専門員実践力強化研修会Ⅱ (ライブ配信、動画配信)	全国社会福祉協議会	3名

②生活支援員研修

日付	研修・会議名	主催	参加者
7/3 (金)	地域福祉権利擁護事業 新任生活支援員研修	東村山市社会福祉協議会	1名
9/8 (火)	令和2年度 第1回 地域福祉権利擁護事業 生活支援員業務連絡会	東村山市社会福祉協議会	12名
11/4 (水)	生活支援員 新任研修	東村山市社会福祉協議会	4名
3/9 (火)	令和2年度 第2回 地域福祉権利擁護事業 生活支援員業務連絡会	東村山市社会福祉協議会	18名
3/1 (月) ~ 3/31 (水)	令和2年度 地域福祉権利擁護事業 現任生活支援員研修 「意思や意向を尊重した支援のあり方とは」 (動画配信)	東京都社会福祉協議会	19名

③会議

日付	研修・会議名	主催	参加者
6/24 (水)	令和2年度 地域福祉権利擁護事業 センター長会議 (オンライン)	東京都社会福祉協議会	1名

10/22 (木)	令和2年度 第1回 地域福祉権利擁護事業 業務連絡会 (オンライン)	東京都社会福祉協議会	1名
11/30 (月)	令和2年度 第1回 北多摩北部ブロック 権利擁護業務担当会議	西東京市社会福祉協議会	2名
2/5 (金)	令和2年度 第2回 地域福祉権利擁護事業 業務連絡会 (オンライン)	東京都社会福祉協議会	1名
2/25 (木)	令和2年度 第2回 北多摩北部ブロック 権利擁護業務担当者会議	西東京市社会福祉協議会	2名

④出前講座

日付	講座名	主催	参加者
11/12 (木)	出前講座 ACTたま北 かいごカフェ 「地域福祉権利擁護事業について」	ACTたま北	1名
11/17 (火)	出前講座 自立支援協議会 相談支援部会 「地域福祉権利擁護事業について」	基幹相談支援センター	2名

9 成年後見制度推進事業

コロナウイルス感染拡大防止のため、参加者10名以上の会議・講座は下半期に開催を延期し、オンライン等の方法を取り入れた。市長申立てに関わるケース検討会議は通常開催した。

相談件数は5月の緊急事態宣言時に減少したが、その後は新規、継続相談ともに昨年度よりも増加傾向となった。コロナ感染対策のため、入院入所先の本人と面会できず、金融機関等手続きに困っている等の新たな相談が見られた。判断能力の低下により、地域福祉権利擁護事業から成年後見制度への移行が必要となり、申し立て支援を行ったケースが増加傾向にあった。

また、今年度は令和2年度市民後見人等候補者養成課程の1年目であり、感染対策を講じながら、説明会や講習を実施、登録者の増加を目指した。

(1) 成年後見人等の支援

1) 成年後見制度の利用相談・問合せ

問合せ・新規相談件数													
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
高齢者	9	5	9	27	11	10	18	17	13	12	15	16	162
知的障害者	1	0	6	3	6	2	1	5	4	0	1	3	32
精神障害者	3	0	1	3	1	3	8	7	7	2	4	0	39
その他/不明	0	1	1	1	1	2	2	4	1	1	1	2	17
合計	13	6	17	34	19	17	29	33	25	15	21	21	250

2) 問合せ・新規相談件数の内訳（複数回答）

項目	件数	項目	件数
成年後見制度利用・手続き等	198	遺言作成	1
任意後見制度利用・手続き等	26	親亡き後	4
専門職の紹介等	31	相続手続き	3
後見人等就任後の業務	9	債務問題	2
監督人との問題	0	消費者被害	1
後見人等の辞任について	5	金銭搾取、経済的虐待	1
日常的金銭管理	14	親族間紛争	4
財産（不動産含む）の管理	8	入院費、施設利用料等の支払い	10
預貯金の取引、解約	5	将来・死後	6
福祉サービス利用、入所等契約	7	不明／その他	0
合 計			335

継続相談支援件数													
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
高齢者	85	67	62	102	81	103	95	76	79	76	71	110	1007
知的障害者	24	18	13	15	19	34	28	25	22	17	11	11	237
精神障害者	21	10	15	12	8	20	16	35	30	39	28	40	274
その他／不明	3	1	6	1	3	2	20	3	8	5	2	3	57
合計	133	96	96	130	111	159	159	139	139	137	112	164	1575

3) 成年後見人等支援のための実務研修、連絡会等

出前講座、公開講座の開催は、下半期に日程変更した。

① 出前講座

	日時	講座名	対象者	人数
1	11/10（火） 16:10～17:10	出前講座 「成年後見制度について」	さやま園 職員	40名
2	11/12（木） 13:30～15:00	出前講座 「地域福祉権利擁護事業、成年後見制度について」	かいごカフェ利用者	6名

② 公開講座

日時	講座名	講師	人数
1/30（土） 10:00～12:00	市民向け講演会 「知って役立つ！成年後見制度」	公益社団法人 成年後見センター・リーガルサポート東京支部	13名
3/13（土）		司法書士 大坂谷扶美枝氏	10名

10:00～12:00			
3/18(木) 13:30～15:30 (オンライン開催)	関係者向け講座「成年 後見制度について～ 支援のポイント～」	公益社団法人 東京社会福祉士 会 ばあとなあ東京 社会福祉士 岡野 範子 氏	31 名
3/30(火) 13:00～16:00	親族後見人向け相談 会 (個別相談)	公益社団法人 成年後見センタ ー・リーガルサポート東京支部 司法書士 塗師 敏昭氏	4 組

4) その他の取り組み

- ①市長申立て数 11 件 (高齢 8 件、知的 1 件、精神 2 件)
 ②緊急的な事務管理 新規 4 件、終了 7 件 (過年度の継続ケース含む)、管理中 2 件
 ③第三者後見人候補者紹介 55 件 (法人 1 件、弁護士 9 件、司法書士 23 件、社会福祉士 22 件)

(2) 地域ネットワークの活用

- 1) 初期相談窓口ネットワーク会議 (9 月書面開催、2/18 オンライン開催)
 2) 成年後見制度推進機関ケース検討会議 (5/20・2 件、8/19・3 件、9/4・3 件、12/9・4 件、
 3/10・1 件)

(3) 運営委員会

下半期に日程変更して開催した。

日 時	内 容	出席者
10/1(木) 13:30～15:00	・令和元年度事業報告について ・令和 2 年度事業計画及び上半期事業報告について ・市民後見人の活動状況について	21 名
3/1(月) 13:00～14:30 (オンライン開催)	・令和 2 年度下半期事業報告について ・意見交換「地域連携ネットワークにおけるチーム支 援について」	20 名

(4) 法人後見監督の受任

1) 法人後見監督の受任状況

①市民後見人の受任状況

	性別	申立日	審判日	終了日	類型	原因障害
1	女	H29. 9. 29	H29. 10. 16		後見	認知症、精神障害
2	女	R 1. 8. 28	R 1. 9. 13		後見	認知症、知的障害
3	男	R 1. 11. 6	R 1. 11. 29		後見	認知症

②法人後見監督の相談支援件数

	高齢者	知的障害者	精神障害者	不明/その他	合計
相談件数	36	0	0	0	36

(5) 市民後見人等候補者の養成及び支援の一体的実施

1) 法人後見監督に向けての活動（発展計画関連事業）

①成年後見事例検討会（10/1・1件、12/21・1件、3/1・2件）

下半期に日程変更し、3月はオンラインで開催した。

②市民後見共有会議（1/15・1件）

2) 市民後見人の養成・活用に関する検討および養成講習の実施（発展計画関連事業）

①養成状況

市民後見人等候補者の登録 東村山市修了生8名、東京都修了生1名 計9名
（うち後見人等の受任者3名）

東京都修了生が当市へ転居、登録選考面談を行い、8月に登録となった。

②7市合同後見人候補者養成講習

2015年度より、近隣7市（小金井市、小平市、西東京市、東久留米市、三鷹市、武蔵野市、東村山市）による市民後見候補者等養成に関する合同会議を開催。今年度の7市合同市民後見人候補者等基礎講習は、コロナ感染予防のため、事前に講義を撮影、DVDを作成し、各市にて上映・実施した。幹事は武蔵野市、副幹事は小平市。

③市民後見人等養成受講説明会（東村山市成年後見制度推進機関主催）

日時	内容	参加者
10/20（火） 13:30～15:30	東村山市市民後見人等養成事業について ・成年後見制度とは ・市民後見人等養成事業とは ・地域福祉権利擁護事業の実習活動とは	7名

④市民後見人等養成入門講習（東村山市成年後見制度推進機関主催）

説明会后、5名が入門講習に申込み、うち4名が修了した。コロナ感染症予防のため時間短縮して実施した。

	日時	内容	講師等
1	11/17（火） 13:00～13:15	オリエンテーション	社協職員
	13:15～14:45	権利擁護の視点で地域を見守るとは～地域の課題と法的視点～	井の頭法律事務所 弁護士 松原拓郎氏
	15:00～17:00	成年後見制度の基本理念と概要／ 後見人の実務について	権利擁護センターばあとなあ東京 社会福祉士 岡野範子氏
2	11/24（火） 13:00～14:30	後見人に必要な福祉サービスの知識と相談援助の基本について	社協 宮田敏行 事務局長
	14:45～15:45	市民後見人からの実践報告	東村山市市民後見人 新井幸子氏
	15:45～16:45	地域福祉権利擁護事業の理解と生活支援員の活動	社協 権利擁護係 石川理恵
	16:45～17:00	今後のお知らせと流れ	社協職員

⑤7市合同後見人候補者等養成基礎講習

東村山市では4名が受講した。

	日 時	内 容	講師等
1	1/26 (火) 10:00～10:15	開講式	※各市で実施
	10:15～11:45	市民後見人に期待すること	公益社団法人 成年後見センター・
	13:00～15:00	成年後見制度の基本理念とその概	リーガルサポート
	15:15～16:45	要	司法書士 稲岡秀之氏
2	2/2(火) 10:00～11:00	「知的障害の理解」コミュニケーションについて ～対話をして寄り添いましょう～	東洋大学社会学部社会福祉学科 教授 高山 直樹氏
	11:15～12:15	障害者の理解と対象者理解「精神障 害について」	西東京市相談支援センター・えぼっ く 精神保健福祉士 原埜 雄司氏
	13:45～15:30	支援のための法律知識	井の頭法律事務所 弁護士 松原 拓郎氏
3	2/9(火) 10:00～12:00	消費者被害の実態とその対応	弁護士法人多摩パブリック法律事務所 弁護士 薬師寺 孝亮氏
	13:30～14:30	本人を支える意思決定支援と社会 資源のつなぎ方	社会福祉事務所ぶしゅけ 社会福祉士 鳥山 克宏氏
	14:45～15:45	講習前半を振り返って	※各市で実施
4	2/16(火) 10:00～12:00	被後見人に対する基本的な支援	赤沼法律事務所 弁護士 清水 光子氏
	13:30～14:45	医療的アプローチ「認知症の方の見 える世界を理解する」	鈴木医院 神経内科 医師 木原 幹洋氏
	15:00～15:45	市民後見人からの実践報告	市民後見人 山本 淑美氏、栗原 文子氏
5	2/22(月) 13:30～14:50	後見人からの実践レポート	(公社)成年後見センター・リーガ ルサポート 司法書士 江口 博昭氏
	15:00～16:30	いろいろな場面を通じて成年後見 人として対応を考える	※各市で実施
	16:40～17:00	閉講式	※各市で実施

⑥市民後見人等養成講習 基礎講習Ⅱ（東村山市成年後見制度推進機関主催）

7市合同後見人候補者等養成基礎講習修了生4名を対象に行った。

	日時	内容	出席者
1	3/23(火) 10:00～11:30 13:00～16:30	・東村山市における市民後見人活動について ・生活支援員実習について	4名

⑦ 7市合同後見人候補者等養成講習事務局会議

	日 時	内 容	出席者
1	6/29 (水) 14:00～15:30	令和元年度 7市合同市民後見人フォローアップ講習の振り返りについて、令和2年度7市合同後見人等候補者養成講習事業について、等	東村山市 2名
2	10/2 (金) 14:00～15:30	市民後見人等養成基礎講習について ・DVD講習について ・カリキュラムについて ・今後のスケジュールについて	東村山市 1名

⑧市民後見人等候補者フォローアップ講習（東村山市単独開催）

日 時	内容・講師	出席者
10/30 (金) 13:30～14:30	「市民後見人からの実践報告」 報告者；市民後見人 楠 美香氏	9名
3/13(土) 13:30～15:00	「年金制度について」 社会保険労務士 中本 庸一氏	7名

⑨市民後見人等候補者連絡会

日 時	内 容	出席者
10/30 (金) 14:30～15:30	受任している市民後見人の活動状況について、市民後見人のケース受任状況について、令和2年度7市合同後見人等候補者養成基礎講習について	9名
3/13(土) 15:00～15:30	受任している市民後見人の活動状況について、市民後見人のケース受任状況について、令和2年度7市合同後見人等候補者養成基礎講習について	7名

(6) その他推進機関業務

1) 推進機関業務

①市地域福祉推進課との定例協議

計11回実施（4, 5月はメール開催）
事業運営について協議・検討を行った。

②顧問弁護士相談

計12回実施・延べ相談件数34件
来所時に職員からの相談事案に対して専門的見地から助言いただいた。また、緊急性の高い事案には電話等で迅速に助言いただいた。

2) 会議・連絡会への参加

①成年後見推進機関テーマ別研究会議（7/22、12/18、3/17 オンライン開催）

②東京都成年後見制度推進機関連絡会（11/26 オンライン開催）

③成年後見制度推進機関地域連携ネットワーク会議（11/26 オンライン開催）

④利用者支援区市町村連絡会（2/25 オンライン開催）

⑤多摩地域における成年後見制度利用促進基本計画に関する連絡会（3/24 オンライン開催）

3) 各種研修会等への参加

- ①成年後見制度推進機関フォローアップ研修（8/5・25・26 動画配信）
- ②成年後見制度利用促進体制整備研修（基礎 10/29・30、応用 10/28・12/16～18 各オンライン開催）
- ③任意後見・補助・保佐等の相談体制強化・広報事業（厚生労働省委託）東京開催セミナー（3/11 オンライン開催）

4) 実習生受け入れ

社協実習生（9月～11月）、市役所実習生（8/31）

Ⅲ 在宅福祉サービス事業

1 居宅介護支援事業、介護予防ケアマネジメント、介護予防支援事業

居宅介護支援事業では、管理者の専従化や主任ケアマネジャーの配置など、事業の管理運営体制を整備することが大きな課題となっている。今年度は、まず事業所の運営基盤を安定化させるためケアマネジャーの常勤化（常勤嘱託職員の採用）に着手した。

新型コロナウイルスの感染拡大を受け、ケアマネジャー自身が感染防止につとめると同時に、緊急事態宣言下では、利用者の不安を受けとめ、法令に則りつつ対面によらない方法にてケアマネジメントを行う場面もあった。

(1) 居宅介護支援、介護予防ケアマネジメント、介護予防支援

①ケアマネジメントの実施、介護予防ケアマネジメント、介護予防支援の受託

要介護度別介護報酬請求件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	(%)
予防受託	11	8	12	10	11	10	10	10	10	9	9	9	119	13.4
要介護1	21	22	23	24	23	22	24	24	22	24	23	24	276	31.0
要介護2	25	25	25	26	25	28	26	24	24	23	20	17	288	32.3
要介護3	12	12	12	12	12	10	10	10	10	8	8	8	124	13.9
要介護4	2	3	3	3	1	1	1	2	2	1	2	3	24	2.7
要介護5	4	4	3	3	4	6	6	7	6	5	6	6	60	6.7
合計	75	74	78	78	76	77	77	77	74	70	68	67	891	100.0

※予防受託は要支援者と事業対象者の合計（地域包括支援センターからプラン作成を受託）

加算の請求件数

加算内容	件数	加算内容	件数
初回加算	9	入院時情報連携加算Ⅰ	0
退院・退所加算Ⅰ	0	入院時情報連携加算Ⅱ	0
退院・退所加算Ⅱ	0		

②研修・会議等

- 東村山市居宅介護支援事業者連絡会総会（書面開催）
- 居宅連絡会研修「セルフ・ネグレクトに対するアセスメントの視点」 9/1
- 認知症のある人の為のケアプラン作成研修 9/16、9/30、10/14
- 北部・地域ケア会議（新型コロナウイルス感染症の基礎を学ぼう） 9/29
- CMAT 大規模研修「2021年制度改正 二十歳になった介護保険 令和の時代の介護支援専門員の役割～新型コロナウイルスを含む感染症から見えてきた医療と介護の連携について～」 11/29
- 居宅連絡会研修「その人らしい生活を支えるとは-東村山市における生活支援体制整備事業について-」 1/19
- 令和2年度東村山市集団指導 2/16
- 介護支援専門員資質向上研修「2021年度施行の改正介護保険法について」 2/16
- CMAT 大規模研修「利用者のご家族を支える専門職に求められること（歯科編）」 2/19
- CMAT 大規模研修「令和3年度介護報酬改定に向けて」 3/6
- 「ケアマネが押さえておきたい2021年4月介護報酬改定」（居宅連絡会・主任ケアマネジャー部会・制度担当） 3/30
- 所内・居宅介護支援事業職員会議 12回

2 訪問介護事業、介護予防・日常生活支援総合事業第一号訪問事業

（1）訪問介護、介護予防・日常生活支援総合事業第一号訪問事業

新型コロナウイルスへの感染防止措置を図りながらサービス提供に努めた。感染拡大第一波～第三波を教訓にし、サービス提供を止めることが無いよう感染拡大に備え防護服等の衛生用品の確保と備蓄に力を入れた。

介護の担い手である登録ヘルパーの人数は、依然、活動要請に対して慢性的に不足している。

介護度の内訳では、要介護と認定された方への訪問介護に比べて、要支援、事業対象者への介護予防のサービス提供の割合が増加してきている。その結果、サービス提供時間や内容が限定され経営的に厳しい状況を生んでいる。

①サービス内容

介護保険制度で要支援・要介護と認定された方及び介護予防・日常生活支援総合事業対象者の方を対象に、居宅サービス計画に基づき訪問介護員を派遣し、生活支援・介護サービスを提供することにより利用者の在宅生活を支援する。内容としては、入浴・排泄・食事等の介護、調理・洗濯・掃除等の家事、外出付添、生活に関する相談助言等である。

②サービス提供時間

月曜日～土曜日（祝日を含む）の午前7時～午後7時の間

③実績

利用者数及びサービス提供時間数（時間数は時間：分で表示）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月		
訪問介護	人数	57	55	61	61	54	56		
	時間数	476：45	452：00	551：15	562：35	503：40	551：30		
訪問型サービス	人数	45	42	43	44	44	44		
	時間数	195：45	177：15	194：25	208：10	186：05	195：50		
自費	人数	16	15	17	16	13	14		
	時間数	37：00	25：30	47：00	56：30	57：00	48：30		
		10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	
訪問介護	人数	53	52	51	50	48	50	648人	
	時間数	512：55	520：05	512：25	432：10	434：10	498：10	6,007時間25分	
訪問型サービス	人数	49	52	53	50	48	50	564人	
	時間数	219：45	227：35	237：40	219：10	217：55	246：25	2,526時間00分	
自費	人数	14	13	16	8	10	10	162人	
	時間数	42：30	34：30	44：30	37：30	36：00	48：00	514時間00分	

※自費の利用者は訪問介護又は訪問型サービスの利用者を含む

訪問介護員稼働実績（人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
嘱託	3	3	3	3	3	3	3	3	4	3	3	3	37
登録	36	36	36	35	34	35	35	32	32	32	31	33	407
合計	39	39	39	38	37	38	38	35	36	35	34	36	444

※嘱託の人数にはガイドヘルパー派遣事業の嘱託職員1名を含む

④職員研修

訪問介護員内部研修会の開催

回	月/日	内 容	参加者数
第1回	5月	ヘルパー心構え（課題レポート提出）	31人
第2回	6月	認知症について（DVD視聴、課題提出）	28人
第3回	3月	自己評価・自己目標設定（虐待の芽チェックリストも同時実施）（シート提出）	30人

管理者、サービス提供責任者研修等

研修・講習会	月/日	人数
多職種連携研修会 新型コロナウイルスの基本を学ぼう	8/19	1人
社福協オンラインセミナー「サービス提供責任者研修」	9/17	1人
失語症理解のための講座「私もあなたと話したい」2020	9/19	1人
居宅系サービス向け「高齢者虐待防止研修」	12/14	1人
令和2年度介護サービス事業者支援研修会	2/15	2人

新任ヘルパー研修

新しく入職した訪問介護員に対して、ヘルパー心構えの読み合わせと同行訪問を実施

⑤会議

会議名	開催回数	内容
ケース会議（サービス担当者会議）	129回	利用者へのサービス内容の見直し、検討等
チーフヘルパー会議	21回	訪問介護事業所の運営に関する連絡調整等

⑥その他

- 登録ヘルパーへの被服等の支給（レインウェア）
- 健康診断の実施（嘱託職員3名、非常勤職員27名）
- 東村山市訪問介護事業者連絡会に加入し、サービス提供責任者部会、役員会に参加

3 ガイドヘルパー派遣事業（身体障害者居宅介護事業）

ガイドヘルパー派遣事業は視覚障害者（児）を対象に、日常生活上必要な外出における付き添いと、文書等の代読・代筆、買い物等の介助を行うために、ガイドヘルパーを派遣する事業。

この事業は、市が実施する地域生活支援事業の「移動支援事業」と、障害者総合支援法による「介護給付費に位置づけられた同行援護と居宅介護」に区分される。また、65歳未満の利用者の通院は居宅介護で対応、65歳以上の利用者の通院は、介護保険制度が優先適用される。

今年度、度重なる緊急事態宣言による外出自粛の影響を受けてサービス提供時間が、減少した。サービスごとに見ると移送支援では、前年度比55%の減、同行援護では、13.9%の減、居宅介護では、6.9%の減となった。

（1）ガイドヘルパーの利用に関する相談及び派遣調整

①利用契約者数

35名

②ヘルパー登録者数

30名

③派遣件数・派遣時間

移動支援（各種申請、冠婚葬祭、ウォーキング、買い物等）

（回/時間）

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
件数	15	13	19	20	28	31	32	30	34	33	27	32	314
時間	30.5	22	45	41	66.5	69	60.5	79	65	66	52.5	80.5	677.5

同行援護（各種申請、冠婚葬祭、ウォーキング、買い物等）

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
件数	108	115	117	130	123	119	133	142	143	129	132	149	1540
時間	201	237.5	257	293.5	286.5	264.5	311	325.5	295.5	260	265	298.5	3295.5

居宅介護（通院、リハビリ）

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
件数	13	17	28	33	31	33	40	34	44	42	40	45	400
時間	33.5	47	70.5	84.5	69.5	90	100	87	116.5	95	93.5	90	977

④研修等

ガイドヘルパー派遣事業では、登録ガイドヘルパーの資質向上のために業務報告会と現任者研修をそれぞれ年2回実施している。今年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から集合型の報告会や研修の開催を見合わせ、書面開催や個人学習など形態を工夫をしながら実施した。

I) 業務報告会

名称（実施方法）	日程	内容	参加者
業務報告会① （書面開催）	5月	令和元年度年度業務報告	30名
業務報告会② （書面開催）	10月	令和2年度上半期業務報告	30名

II) 現任者研修会

名称（実施方法）	日程	内容	参加者
現任者研修会① （個人学習型）	7月15日～ 10月31日	自宅学習 視覚障害者理解につながる課題図書を読んで、課題レポートを提出。感想や気づきを全体で共有した。	22名
現任者研修会② （DVD視聴型）	2月17日 2月24日	DVD視聴 「見えない」をあきらめない、 “見えない”を乗り越えて（NHK厚生文化事業団） 中途視覚障害者の訓練の様子、葛藤、苦悩などを追ったドキュメンタリーの上映会を計2回開催し、感想をレポートにまとめてもらった。	20名

III) 虐待防止研修

名称（実施方法）	日程	内容	参加者
東京都障害者虐待防止・権利擁護研修（従事者コース）（オンライン研修）	10月2日	東京都における障害者虐待防止の現状、障害者虐待防止法の理解と虐待事案について、従事者等による障害者虐待の防止等	1名
東京都障害者虐待防止・権利擁護研修 伝達研修	12月10日	上記内容を、登録ガイドヘルパーに資料回付の形態で伝達を行った	29名

4 ふれあい事業

ふれあい事業は、一円貨募金を財源に、公的な制度の隙間を埋めるサービスとして当協議会が独自に取り組んでいる事業であり、社会福祉法人が実施する「地域における公益的な取組」に位置付けることができる。

(1) ひとり暮らし高齢者等ふれあい訪問事業（発展・強化計画関連事業）

ひとり暮らしの虚弱な高齢者を対象に、安否確認を行うため、東京ヤクルト販売（株）に委託して乳酸菌飲料の配布を行った。訪問日は、月曜日、水曜日、金曜日の週3回。

今年度、新型コロナウイルス感染拡大防止のための第1回目の緊急事態宣言期間中、ヤクルトが訪問を休止したため4月8日より5月22日までふれあい訪問も休止せざるを得なくなった。この間、利用者にはふれあい電話訪問事業の電話訪問員よりご様子伺いの電話を入れて対応した。

①利用者の状況

○登録者数：73名（令和3年3月末現在） ◇新規登録者；5名

○取消者；10名

②延べ訪問回数：6,917回

③安否確認活動：18件

業者からの連絡を受け、利用者の緊急連絡先、ケアマネジャーや地域包括支援センターなどの関係機関、地域の民生委員等と連絡をとり、安否確認活動を10回行った。

安否確認の結果は ①取り忘れ1件 ②入院・入所2件 ③外出・外泊11件 ④その他4件であった。

(2) ひとり暮らし高齢者等ふれあい電話訪問事業（発展・強化計画関連事業）

ひとり暮らし高齢者を対象に孤独感の緩和を主な目的として、電話訪問員（7名）が週に1回電話による訪問をして、話し相手になっている。利用者からの相談に関しては、電話訪問員や担当職員が関係機関等へ連絡をして対応を行った。

①利用者の状況

○登録者数：28名（令和3年3月末現在） ○新規登録者；5名 ○取消者；2名

②延べ訪問回数：1,196回

③付帯するケース活動：14回

④ふれあい訪問休止期間中の利用者への電話によるご様子伺い：

期間：令和2年4月15日～5月22日、回数：延べ154回

⑤電話訪問員研修会等

今年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から毎月行っている研修の回数と内容を大幅に見直し、感染予防策をとった上で年2回の電話訪問員同士の懇談会に置き換えた。利用者と電話訪問員との交流会については中止とし、代替えに利用者全員にメッセージカードを送付した。

5 手話通訳者派遣事業

聴覚障害者の意思疎通、情報保障、広範な社会参加のために活動した。新型コロナウイルス感染症の予防を鑑みながら必要な場所と時間に市内の登録手話通訳者を派遣し、遠方等の場合

は都内の社会福祉法人に派遣を依頼した。聴覚障害者が安心して地域生活を送れるよう相談を受け、関係機関等と連携して支援した。高齢の聴覚障害者や重複障害者への支援等では、日常生活や福祉サービスのみならず終活に関わる相談も増え複雑化している。

新型コロナ感染の拡大により社会的に急拡大した ICT が、通訳、相談、会議などといった場面で使用できる遠隔通訳の仕組みの整備が次年度への引継ぎ課題となった。

(1) 聴覚障害に関する相談・意思疎通支援

利用内容と件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
男	31	25	44	31	29	13	35	18	22	19	22	36	325
女	33	28	37	33	19	24	46	33	47	22	29	31	382
他機関等	11	3	10	10	4	10	17	10	10	12	7	11	115
内容別													
健康問題	7	5	10	4	6	4	5	4	5	1	3	5	59
労働問題	2	0	0	0	1	0	3	2	0	0	0	0	5
福祉	2	0	6	10	6	4	10	3	5	8	2	10	66
代読(手話化)	20	19	27	15	17	12	17	21	15	12	15	22	212
身辺援助	20	19	27	15	17	12	17	21	15	12	15	22	265
その他	17	3	20	23	10	13	31	17	24	16	20	21	215
合計	75	56	91	74	52	47	98	61	79	53	58	78	822

職場や公的機関からの文書を手話に翻訳するもの、職場・親戚宅への電話連絡、病院への予約電話等その場で対応できるものも多いが、相談内容が多様化・複雑化しており、介護施設通所や入所、生活保護等々については、それぞれ他機関と連携し相談を受け、あるいは同行して問題解決の支援をした。

聴覚障害者の職場上司からの相談、聴覚障害者の居住する団地住民からの相談、福祉サービス提供事業所からの相談、高齢聴覚障害者の介護保険に係わる相談は引き続き対応している。

(2) 手話通訳者の派遣・調整

① 手話通訳派遣事業実績

利用登録者数	個人 52 (男 21、女 31)	団体 1
利用者実数	個人 31 (男 12、女 18)	団体 1、市 17 課、社協・ボラセン
登録手話通訳者数	16 名 (男 1 女 15)	
通訳事業利用件数	1325 件 (派遣 503、相談 822)	市 27、社協 5、聴障協 1 (派遣)
延べ通訳者派遣人数	367 人 (登録通訳者のみ)	

② 手話通訳月別利用件数

() は東京手話通訳等派遣センター依頼分

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度
件数	24 (0)	27 (0)	39 (4)	46 (5)	28 (2)	45 (5)	56 (6)	46 (2)	53 (3)	32 (2)	43 (3)	64 (6)	503 (38)	647 (62)

※派遣先： 市内→431件

市外→72件 新宿・文京・小平・東大和・三鷹・昭島・国立・清瀬・立川・武蔵村山・国分寺・府中・所沢（品川・中野・三鷹・府中・東大和・小平・神奈川）

③利用内容

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
生命と健康	13	15	23	22	8	20	23	22	22	15	23	28	234
権利保持	2	0	0	0	4	0	1	0	5	1	3	1	17
行政	1	1	2	2	1	1	1	4	3	1	2	5	24
福祉	0	0	1	6	3	11	9	5	7	4	7	8	61
労働	0	2	2	2	2	1	2	2	1	0	1	5	20
住居	0	0	0	2	0	0	2	3	1	1	1	4	14
教育	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	2
文化	0	0	1	1	1	2	2	0	2	2	1	2	14
人間関係	0	0	2	2	2	2	2	3	1	1	0	1	16
団体会議	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	2
その他	8	9	8	9	7	8	13	6	11	6	5	9	99
合計	24	27	39	46	28	45	56	46	53	32	43	64	503

(3) 手話通訳者等の養成

これまで手話奉仕員及び手話通訳者を養成し、聴覚障害者の地域生活向上と意思疎通支援事業の充実のための手話講習会を開催してきた。しかし、新型コロナウイルス感染症拡大を受け、対応を協議する中で聴覚障害者協会からの申し入れもあったことから、通訳者登録試験直近の通訳養成クラスを除き、従来の入門クラス～通訳応用クラスまでの講習会を中止した。

既に申し込みのあった市民の方々の意欲の尊重と地域啓発を兼ねて、「はじめての手話」「フォローアップ基礎」「フォローアップ応用」を講習会講師の協力のもと1ヶ月に1回のペースで開催した。しかしながら、残念なことに12月の再拡大を機に年度内の開催を中止した。

一方で、通訳養成クラスに関しては夜間の集会ができなくなった1月より最終回までの講習会を時間を短縮しZoom開催したが、オンライン使用の不慣れや平面画像で手話を扱う事の難しさが大きな課題となった。

①手話講習会及び啓発クラス開催状況

講座名	期 間	時 間	回数	会 場	受講数	修了数	修了
通訳養成	7/31～3/19 金曜日	19:00～21:00 18:30～19:50	25	社会福祉センター 自宅（Zoom開催）	4	4	100%

	初めての手話				フォローアップ基礎		応用
	昼④	昼⑤	夜④	夜⑤	④	⑤	
開催日	令和2年9月～令和3年3月まで1カ月に1回の計7回の開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の再拡大を受け、令和3年1月より3回を中止とした。						
時間	10:00～12:00		19:00～21:00		10:00～12:00		19:00～21:00
会場	社会福祉センター						市民センター
申込数	5	5	6	5	10	7	5

(4) 中途失聴・難聴者のための手話講習会

市内在住の難聴者と成人後聴覚を失った方々およびその家族を対象にした手話講習会は、新型コロナウイルス感染症拡大を受けて、回数を8回から2回に減らし開催した。これは(3)の講習会とは異なり、障害当事者の社会復帰を目的としている。中途失聴者にとって、コミュニケーション手段の獲得は閉ざされていた心を開き、新たな人生への再出発となり、同じ障害をもった方々との情報交換・相談の場としての機能も併せ持ったものとなっている。

今年度より運営委員会形式を取らず社協主導で開催した。東村山市登録手話通訳者2名が指導にあたった。

日 時；11月12日 19日、10:00～12:00（全2回）

場 所；いきいきプラザ3階

参加者；9名（当事者3名）

(5) 登録手話通訳者の資質向上

自主研修を開催した16回（原則として毎月第1土曜、第3月曜19:00～21:00）のうち、外部講師による研修を1回、Zoomでの話し合いを1回行った。2・3月に予定していた外部講師による研修会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止とした。

(6) 会議・研修等

①手話講習会運営委員会

手話講習会、啓発講座、新型コロナ対策等の総合調整のため開催した。

委員；聴覚障害者協会1名、昼・夜手話サークル各2名、社協3名(事務局)、計8名

回数；13回(1回/月程度 開催19:00～21:00 Zoom開催時～19:50)

②手話講習会講師・助手会議等

例年行われていた全体講師会議は、多人数の集会を避けるためクラス単位でのみ行われた。年間の振り返りの講師会議も新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止とした。

③利用者懇談会（利用者の声を聞く会）

毎年度末に、より良い通訳活動を目指し登録通訳者の協力を得て、手話通訳利用者の意見や要望を聞く会を実施してきた。今年度末は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催をしなかった。

④東村山市意思疎通支援事業連絡調整会議

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、今年度は1回のみ開催となった。

9月11日（金）19:00～20:30 市民センター第3会議室

⑤自治体手話関係職員連絡会研修会等研修会

新型コロナウイルス感染拡大防止のため集会形式の研修会は中止となり、手話通訳士協会が開催した Zoom による「ピア・スーパービジョンにおけるファシリテーター養成研修会」に参加した。

⑥東村山市手話通訳者登録試験検討委員会

これまでは登録試験準備段階で4回ほどの委員会が開かれ、審査員を兼ねた委員として参加してきたが、緊急事態宣言などの関係で2回となり十分な準備ができなかった。また、試験問題作成も担当する中でもコロナ対策は大きな難関となった。

11月19日（木）13：30～、3月8日（月）14：00～

⑦市・障害支援課との定例協議

手話通訳者派遣事業に関することを中心に所管部署との事業に関する調整を行った。

令和2年6月16日（木）、7月9日（木）、8月7日（金）、9月8日（火）、10月2日（金）、11月5日（木）、12月21日（木）、以降は適宜電話での打ち合わせとなった。

6 移送サービス事業

利用者の利便性向上のため、平成29年度より車いすの自走に不安がなく介助を常に必要としない方で、社協が安全と判断した場合、単独での乗車を可能としてきた。

また、令和3年3月には東京都共同募金会の配分を受け、小回りの利く小型福祉車両を購入し、利用対象者拡大への準備を行った。

登録者数は111名（令和3年3月末現在）

（1）移送サービス調整・運行

下表のとおり移送車の運行を行った。新型コロナウイルス感染症の影響で、例年より利用件数が減っている。（前年度利用件数：1262件）

①月別運行件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者実数	35	33	31	42	38	35	36	28	35	34	40	38	425
利用件数	65	59	87	111	88	99	110	69	90	58	68	83	987

②利用内容

	通院	入退院	通所	入退所	諸手続き	会議等	その他
件数	768	5	38	0	0	0	176

※その他：趣味、リハビリ、買い物等

（2）調査・検討（発展・強化計画関連事業）

昨年12月より利用対象者の拡大を検討するために、現行の運行枠の中でガイドヘルプ事業を利用している視覚障害のある方々に試行実践を行い、利用ニーズの把握に努めた。

モニター利用登録者数：15名

7 車いす短期貸出事業

身体（下肢）が不自由な市民の方を対象に車いす等の貸し出しを行った。最近では、介護保険制度の谷間を埋めるようなニーズが増えてきていることに加え、貸出期間の延長を希望する方も増えている。

車いすの貸し出し状況及び在庫情報をデータ化し、適切に管理できるよう進めている。

ボランティアグループ“ウィールの会”に車いすの清掃、簡単なメンテナンスを月2回程度行っていただいている。（新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により、活動場所が提供できなかったり、会自体が活動を中止していた期間があった。）

令和2年度	貸出	返却
社協事務所	109	92
計	109	92

IV 法人運営

1 組織運営事業

(1) 理事会・評議員会・役員会の開催、監事監査の実施

項目	実績																							
役員等の現状	(令和元年6月21日改選 令和3年3月31日現在) 会長；大原喜美子 副会長；遠藤剛之、小山信男 常務理事；江藤佳子 会計担当理事；丹代了 理事；鳥羽美香、畠山香壽恵、松浦弘子、高橋照定、酒井雅司 比留間克美、藤原公子、吉田謙、間野雅之 監事；小澤進、瀧口章江																							
		顧問	監事	理事	評議員																			
	定数	若干名	2名	14～16名	28～32名																			
	現員数	2名	2名	14名	30名																			
理事会	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回数</th> <th>日時・会場</th> <th>出席</th> <th>主な内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第1回</td> <td>6/9(火) 決議の省略</td> <td>理事 15名 監事 2名</td> <td> 令和元年度事業報告の承認 令和元年度決算報告の承認 令和2年度定時評議員会の招集 ※新型コロナウイルス感染症の影響により開催を中止し、決議の省略による手続きに移行した。 ※理事全員の同意書及び監事全員の確認書提出済 </td> </tr> <tr> <td>第2回</td> <td>10/20(火) 10:00～11:30 社会福祉協議会</td> <td>理事 14名 監事 2名</td> <td> 令和2年度資金収支補正予算の承認 嘱託職員に関する要綱の一部改正 職員就業規則の一部改正 令和2年度第2回評議員会の招集 </td> </tr> <tr> <td>第3回</td> <td>1/27(水) 決議の省略</td> <td>理事 15名 監事 2名</td> <td>評議員候補者の推薦</td> </tr> <tr> <td>第4回</td> <td>3/16(火) 10:00～12:00</td> <td>理事 12名 監事 2名</td> <td> 令和2年度資金収支補正予算の承認 令和3年度事業計画の承認 令和3年度資金収支予算の承認 職員の人事評価に関する要綱の制定 嘱託職員に関する規則の制定 再雇用職員の取扱に関する規則の制定 役員等賠償責任保険契約の締結 管理職の選任 令和2年度第3回評議員会の招集 </td> </tr> </tbody> </table>				回数	日時・会場	出席	主な内容	第1回	6/9(火) 決議の省略	理事 15名 監事 2名	令和元年度事業報告の承認 令和元年度決算報告の承認 令和2年度定時評議員会の招集 ※新型コロナウイルス感染症の影響により開催を中止し、決議の省略による手続きに移行した。 ※理事全員の同意書及び監事全員の確認書提出済	第2回	10/20(火) 10:00～11:30 社会福祉協議会	理事 14名 監事 2名	令和2年度資金収支補正予算の承認 嘱託職員に関する要綱の一部改正 職員就業規則の一部改正 令和2年度第2回評議員会の招集	第3回	1/27(水) 決議の省略	理事 15名 監事 2名	評議員候補者の推薦	第4回	3/16(火) 10:00～12:00	理事 12名 監事 2名	令和2年度資金収支補正予算の承認 令和3年度事業計画の承認 令和3年度資金収支予算の承認 職員の人事評価に関する要綱の制定 嘱託職員に関する規則の制定 再雇用職員の取扱に関する規則の制定 役員等賠償責任保険契約の締結 管理職の選任 令和2年度第3回評議員会の招集
回数	日時・会場	出席	主な内容																					
第1回	6/9(火) 決議の省略	理事 15名 監事 2名	令和元年度事業報告の承認 令和元年度決算報告の承認 令和2年度定時評議員会の招集 ※新型コロナウイルス感染症の影響により開催を中止し、決議の省略による手続きに移行した。 ※理事全員の同意書及び監事全員の確認書提出済																					
第2回	10/20(火) 10:00～11:30 社会福祉協議会	理事 14名 監事 2名	令和2年度資金収支補正予算の承認 嘱託職員に関する要綱の一部改正 職員就業規則の一部改正 令和2年度第2回評議員会の招集																					
第3回	1/27(水) 決議の省略	理事 15名 監事 2名	評議員候補者の推薦																					
第4回	3/16(火) 10:00～12:00	理事 12名 監事 2名	令和2年度資金収支補正予算の承認 令和3年度事業計画の承認 令和3年度資金収支予算の承認 職員の人事評価に関する要綱の制定 嘱託職員に関する規則の制定 再雇用職員の取扱に関する規則の制定 役員等賠償責任保険契約の締結 管理職の選任 令和2年度第3回評議員会の招集																					

評議員会	回数	日時・会場	出席	主 な 内 容
	第 1 回	7/1(水) 決議の省略	出席 30 名	令和元年度事業報告の承認 令和元年度資金収支決算の承認 ※新型コロナウイルス感染症の影響により開催を中止し、決議の省略による手続きに移行した。 ※評議員全員の同意書提出済
	第 2 回	11/6(金) 13:30~14:50 市民センター	出席 19 名 欠席 10 名 理事 1 名 監事 1 名	令和 2 年度資金収支補正予算の承認
	第 3 回	3/26(金) 10:00~12:00 市民センター	出席 26 名 欠席 4 名 理事 1 名	令和 2 年度資金収支補正予算の承認 令和 3 年度事業計画の承認 令和 3 年度資金収支予算の承認
役員会	会長・副会長・常務理事・会計担当理事で構成する定例役員会を毎月（8月を除く）開催した。			
監査等の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・ 会計内部監査 5/26 10:00~12:00 内容；会計担当理事による令和元年度決算監査 11/24 10:00~11:00 内容；会計担当理事による令和 2 年度上半期会計監査 ・ 監事監査 5/28 10:00~12:00 内容；令和元年度事業・決算監査 11/26 13:30~15:30 内容；令和 2 年度上半期事業・会計監査 ・ 市指導検査 11/17 9:30~17:00 内容；社会福祉法第 56 条に基づく市指導検査 			

（２）部会・委員会の開催

項 目	実 績
部会・委員会の活動	
① 女性・子ども部会〔委員 8 名〕	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、実施していない。
② 心身障害者（児）部会〔委員 10 名〕	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、実施していない。
③ 高齢者部会〔委員 10 名〕	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、実施していない。
④ 小地域福祉活動部会〔委員 9 名〕	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、実施していない。
⑤ 福祉だより編集委員会〔委員 6 名〕	年 5 回の発行を通じ、市民に向けて社協事業の広報に努めた。 (1)8月 25 日（火）午前 10 時～ 10 月 1 日（No.214）号

(2)10月23日(金)午前10時～ 12月1日(No.215)号

(3)3月23日(火)午前10時～ 5月1日(No.217)号

※7月1日(No.213)号、3月1日(No.216)号の編集委員会は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。

(3) 会員制度の啓発、会員拡充

新型コロナウイルス感染症の影響により、例年通りのPRが難しくなり、会員アンケート調査についても実施を延期した。現在加入してくださっている方々への感謝の気持ちを伝えるとともに、継続していただけるよう働きかけを行った。また、「気軽に会えない今だから手紙を書こう」をテーマに例年配布しているメモ帳に代わって、ぼんたくんのレターセットを配布した。

令和2年度 会員加入状況	区 分		会費額 (1口)	令和2年度		令和元年度	
				会員数	金額	会員数	金額
正会員	個人	500円	5,257	4,276,500	5,545	4,472,500	
	団体	1,000円	122	597,000	128	612,000	
賛助 会員	一般賛助	1,000円	135	175,000	140	170,000	
	特別賛助	5,000円	60	430,000	61	435,000	
			5,574	5,478,500	5,874	5,690,000	
会員加入率 7.5% (令和元年度 8.0%) 東村山市世帯数 74,133 世帯							
地域福祉大会 の開催	名称を「社協大会」から「地域福祉大会」に変更し、活動計画を広く広報し、市民への周知を図る予定だったが、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、開催を断念。中止とした。(実施予定日：4/18(土)) 3/1号福祉だよりで広報した後だったため、急遽HPで中止を案内した。 電話での問合せ21件。 ◆福祉協力員永年活動表彰式の企画 地域福祉大会が中止となったため、長年福祉協力員としてご尽力いただいた方々を表彰する機会を設けた。 9月29日(火)13:30～15:00 内容：ア)表彰・感謝状贈呈 福祉協力員10期20年；20名、5期10年；10名 イ)職員からのビデオレター上映 ウ)職員出し物						
会員制度啓発 会費募集の取 り組み	・会員ニュース発行 6,000部 ・例年は上半期の福祉だよりで団体会員名、個人正会員数を掲載しているが、今年度は10月1日号に変更。 ・今年はコロナの関係で、通常のPRとは異なり、市内各町の協力してくれる個人・団体正会員の方々に、会員加入のお礼・継続依頼の文書と会員ニュースを配布後に会費の依頼をし、社協会員啓発のため会員募集の呼びかけに努めた。 ・社協会員企画「会員ひろば」を事務所内に設置し、会員との交流に努めた。						

	・会員制度が「誰かにつながる・社協につながるきっかけ」となることを伝え、引き続き、テーマを「ひとりぼっちのいない町」として、加入依頼チラシ（自治会）や会員ニュース等で理解促進に努めた。
--	--

（４）運営体制の整備（発展・強化計画関連事業）

項目	実績
規程等の整備	定款、規程、要綱等の改正、所轄庁への届出等を行った。
法人経営管理業務の改善	昨年度に引き続き、会計事務所と顧問契約を締結し、適正な財務会計体制の確立と経営管理の改善に努めた。また、4月より新しい財務・給与システムを本格的に導入し、会計業務の一本化を目指し、業務の効率化を図った。
職場内研修	日時；令和3年2月5日(金)午後4時～ 地域福祉活動室 内容；メンタルヘルスの基礎知識、ストレスの対処方法、呼吸法や簡単ストレッチなどについて（Zoomによるオンライン講座） 講師；野村不動産ライフ&スポーツ株式会社
P T会議の開催	福祉バザー実施について話し合うバザーP Tを立ち上げ、検討を行った。（2回開催）
局会議の開催	係間連携を強化し、組織の効果的な運営を図るために毎月局会議を開催した。

（５）自己財源の確保（発展・強化計画関連事業）

項目	実績
会員会費 （再掲）	会員数；5,574件※3月31日現在（令和元年度；5,874件） 会費額；5,478,500円※3月31日現在（令和元年度；5,690,000円）
寄附金・寄附物品	一般寄附金；208件 4,874,815円（令和元年度；210件 3,751,046円） 指定寄付金；3件 17,000円（225件4,604,957円） 物品寄附；車いす3台、不織布マスク5,000枚、手作りマスク、食料品等
募金運動	①一円貨募金 経済的に厳しい状況に置かれている方々が大勢いらっしゃることやコロナ禍で募金の受け取りなどの接触の機会が増えることを鑑み、一円貨募金推進委員会で話し合った結果、今年度の実施を中止した。 ②赤い羽根共同募金 東京都共同募金会東村山地区協力会の事務局として、赤い羽根共同募金運動を推進した。コロナ禍での募金運動ということで、中央募金会「募金活動実施にあたっての衛生配慮に係るガイドライン」に基づき、募金活動を安全に実施することを目指し、地域住民の方々の安心と信頼を担保できるよう努めた。 また自治会等へ「共同募金運動に関するアンケート調査」を実施し、このような状況下でご協力いただけるものなのかを確認した上で、協力依頼を行った。 ・地区協力会 9月29日（水）15:30～16:40 出席15名 内容；①令和元年度共同募金運動報告、②令和2年度共同募金運動計画、③配分推せん委員会報告、④令和元年度地区協力会監事監査報告、その他

	<ul style="list-style-type: none"> ・街頭募金 i) 10月15日(木) 10:00~11:00 イトーヨーカドー東村山店、ヨークフーズ東村山店で実施 ii) 10月30日(金) 17:30~18:30 久米川駅、新秋津駅で実施 ・募金総額 1,353,317円(令和元年度; 2,255,960円) <p>③歳末たすけあい運動</p> <p>東京都共同募金会が主催する歳末たすけあい運動を推進した。赤い羽根同様コロナ禍での募金運動ということで、街頭募金は中止し、下記の内容に取り組み、募金運動への協力を呼び掛けた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ネットワークを活かした募金箱の設置 東村山市社会福祉法人連絡会に依頼し、様々な施設に募金箱を設置。(17か所) ・デコ募金箱の募集 ボランティアネットにて、募金箱にデコレーションしてくれる子どもたちを募集し、「デコ募金箱」を作成した。(作成数8) ・広報車の活用 ボランティアチルドレン(通称ボラチル)に、広報用テープを録音してもらい、募金期間中広く募金運動を呼び掛けた。 ・募金総額 2,192,840円(令和元年度; 3,702,725円)
配分推せん委員会の開催	<p>東京都共同募金会東村山地区配分推せん委員会を開催した。</p> <p>第1回 令和2年7月13日(月) 10:00~11:30 出席9名 内容; 地域配分の受付・評価方法の確認、受配団体見学について検討</p> <p>※今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、受配団体の見学は中止。</p> <p>第2回 令和3年1月18日に実施予定だったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、書面決議に変更。</p> <p>内容; 地域配分の配分推せん額決定、歳末たすけあい運動配分計画の検討</p>
東村山市社協ファンドレイジングチーム(FRT)の開催	<p>(1)事務局会議の開催</p> <p>昨年より引き続き「東村山市社協ファンドレイジングチーム(FRT)」として開催。標準服リユース事業、移送サービス事業、自主財源の確保等について検討を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チームメンバー; 6名(管理職3名、法人運営係2名、まちづくり支援係1名) ・事務局会議; 4/9、5/8、6/12、8/3、11/9、11/19、12/10、12/3、12/22、1/22、1/29、2/2 ※事務局会議の他、チーム別に打ち合わせを実施 ・内容; 標準服リユース事業、移送サービス(試行運行、対象拡大他)、FRの取り組み、HPのリニューアルについて検討・実施 他 <p>(2)ファンドレイジング実施に向けた取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・久津摩 和弘氏(COMMNET理事)と社協で取り組むファンドレイジングについて打ち合わせを実施。また8月以降よりホームページリニューアルについて業者を交えて検討を行った。今年度はオンライン Zoom)での実施とした。 ・実施日; 7/21、8/7、8/19、8/24、9/2(AM、PM)、9/17、10/1、11/17、11/25、12/9、12/24、1/14、1/20、1/28、2/12、2/22、3/8、3/22

	<p>(3) 研修会の参加</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ “FRJ2020 ファンドレイジングジャパン” に参加。今年度については、オンラインでの参加となった。 ・ 実施期間；9/5（土）～9/6（日） ・参加者；FRT 3名 <p>(4) ホームページ(HP)のリニューアル</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ HP 作成会社、寄付金オンライン決済会社と、オンラインにて打ち合わせを行った。
自動販売機の設置	<p>公共施設等に 6 台を設置 令和 2 年度収益 398,726 円 (令和元年度；633,088 円)</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響で業者からの申し出で地域福祉センター設置自動販売機 1 台が令和 3 年 3 月に撤去となった。今後は自主財源確保に向けて新たな設置等の検討が必要となる。</p>
その他自主財源の確保	<p>広告収入；1,616,000 円</p> <p>印刷機使用料収入；441,535 円</p> <p>バザー収入；12,000 円</p>

(6) 法人管理事務（発展・強化計画関連事業）

項 目	実 績
法人管理事務	<p>新経理・給与システムの円滑な運用に集中的に取り組んだため、係内での法令等の学習会機会を設けることが出来ず、今年度の目標達成には至らなかった。</p> <p>①人事・給与管理、社会保険、福利厚生・健康管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇給与・手当等の計算 ◇入退職手続 ◇労働者名簿の管理 ◇社会保険資格得喪手続 ◇健康診断予約 ◇産業医の配置 ◇マイナンバーの管理 ◇ストレスチェックの実施 など <p>②財務・その他管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇予算・決算 ◇経理事務 ◇金銭出納 ◇資産管理 ◇税務 ◇契約事務 ◇各種届出 ◇文書の收受・管理、建物・車両等の管理・点検 ◇建物防火管理 など <p>※今年度は、新型コロナウイルス感染症予防対策として、非接触型体温計やアクリル板の設置、消毒液、防護服、マスク等の備蓄などを行った。</p>

2 計画推進・調査・広報・連絡調整

(1) 第 5 次地域福祉活動計画（WE LOVE♥東村山プラン）の推進

項 目	実 績
事務局会議の開催	<p>第 5 次地域福祉活動計画の推進について検討を行った。</p> <p>開催回数；5 回（5 月を除く毎月）／事務局職員；10 名、</p> <p>内容；計画の推進について（重点アクションの進め方、アクション PT、地域懇談会のあり方、広報等）推進委員会の開催に向けて（委員の選出、役割、内容、進め方等） 他 ※主にコロナ禍における計画の推進方法の検討</p>

<p>推進委員会の開催</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・第5次地域福祉活動計画の推進について検討を行う場であるが、新型コロナウイルス感染症対応で上半期の委員会は開催しなかった。 (上半期) 正・副委員長、事務局にて打ち合わせを実施；2回 計画の推進方法、推進委員会の開催について 他 ○第1回推進委員会（10月20日（火）午後6時～8時／地域福祉活動室） 出席者；14名 (1) 令和2年3月～11月の活動報告；社協事務局会議、地域懇談会の開催、各重点アクションの活動、広報 他 (2) 今後の計画の推進について；2021～2023年の後半3か年を「5.5次計画」として位置づけ、取り組むことを確認。 ○第2回推進委員会（3月26日（金）午後6時～8時／オンライン＋会議室） 出席者；15名 (1) 第1回推進委員会以降の活動報告 (2) 活動計画の推進について
<p>計画のPR</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉だより；あいさつ運動の紹介（富士見町）、ボラチルによる写真モデル事業報告、活動計画の歩み（特集ページ）、中間報告会(Episode.1)案内 ・SNSを使った広報；Facebookにてアクションレポート（動画） 他
<p>計画の推進</p>	<p>地域住民、関係機関、社協職員等で構成されるアクションチームで検討し、活動を推進した。重点アクション①については各町のあいさつ運動推進委員会等の組織をアクションチームと位置づけた。各アクションでは、職員のみ事務局長会議、チームでの会議を開催し、推進の検討を行った。</p> <p>新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、従来の様な活動が出来ない状況にあったが、少しずつではあるが地域での活動が始まってきた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○重点アクション①「あいさつ＋ひと言運動」 <ul style="list-style-type: none"> ・活動団体代表へのヒアリング ・青葉小代表委員会取り組み視察 ・萩山町あいさつ運動アンケート調査の検討実施 ・あいさつ運動代表者交流会 <ul style="list-style-type: none"> ・3月1日（金）午前10時～ オンライン＋参加／出席者11名（5団体） ・内容；各団体活動報告／萩山町の取り組み報告／意見交換 ○重点アクション②「町なか護美プロジェクト」 <ul style="list-style-type: none"> ・地域での取り組み方法の検討、社協での取り組みの検討 など ・社協Voによるゴミ拾い活動の試行（11/4、1/22、2/5、2/19、3/6、3/19） ○重点アクション③「子ども協力員」の検討・募集 <ul style="list-style-type: none"> ・アンケートの実施 ・福祉だより、動画等の広報のモデル など ・活動報告会&ボラチルマスク作り <ul style="list-style-type: none"> ・12月19日（土）午後2時～3時30分／地域福祉活動室 ・参加者；ボラチル5名、アクションメンバー5名 ・内容；活動報告、ボラチルマスクづくり、記念撮影 他 ○重点アクション④「行きたくなる場所&場づくり」 <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍のサロン活動に関するアンケートの検討、実施 ・『コロナ禍でも人と繋がるヒントブック～コロナ禍でもサロン等の地域活動をすすめるために～』を発行 ○地域懇談会；新型コロナウイルス感染症の予防・拡大防止のため中止

(2) 第5次社協発展・強化計画（WE LOVE 社協プラン）の推進

項目	実績
発展・強化計画の進行管理	係ごとに年間事業実施計画を作成し、管理職と係長・主査職による局会議において進行管理を行った。
市・社協総合調整会議の開催	地域福祉の推進に向け、事業の在り方について総合的に調整することを目的として、総合調整会議を開催した。 令和2年度は、重点的に協議を行う5事業について2回（1回は書面）の会議を開催し、今後の方向性等について話し合った。

(3) 広報（発展・強化計画関連事業）

項目	実績
福祉だよりの発行	第212号（5/1発行）・第213号（7/1発行）・第214号（10/1発行）・第215号（12/1発行）・第216号（3/1発行）※第214号は特集号 今年度より、編集・印刷の業者が変更となった。新型コロナウイルス感染症の影響により、当初予定していた行事案内などが中止。そのため、急遽記事を変更する場面があった。コロナ禍での取り組み報告など、地域への情報提供を行った。 また、編集委員会の会議を開催せず、郵送等で意見交換を実施した号もあった。
ホームページ・SNS	社会福祉協議会、東村山ボランティアセンターのホームページ運営 Facebook、Twitterでは「ぼんたくんのまちづくり日記—東村山市社協—」を展開し、活動計画を中心に地域の活動について幅広い世代へ情報提供を行った。 令和3年度のリニューアル公開に向け、FRTや作成会社と打ち合わせを行った。
出前講座	例年、社協事業や福祉制度への理解を深めるために、職員の専門知識を活かして出前講座を開催しているが、新型コロナウイルス感染症の影響により年間通して2件のみの依頼だった。（再掲） ◇11月10日「成年後見制度についての講習会」（さやま園） ◇11月12日「地域福祉権利擁護事業、成年後見制度について」（かいごカフェ利用者）
その他広報活動	商店・事業所等の協力を得て、社協情報の広報紙やポスターの掲示、募金箱の設置等を行う「福祉協力店」事業を行い、社協活動のPRに努めた。 福祉だよりで「あなたのまちの“協力店”」の連載を行った （令和3年3月末現在：27店舗）

(4) 関係機関との連携・連絡調整

項目	実績
関係機関・団体との連携	(1) 東村山市高齢者福祉施設連絡会 東村山市高齢者福祉施設連絡会の事務局を法人運営係が担当した。 ・施設長会議；1回（6/22） ・事務局（担当職員）会議；当面の間中止 ・東村山市健康福祉部介護保険課、地域包括支援センターとの情報交換会1回（8/4）

- ・研修；実践報告・人材交流会（3/16（火）午後1時30分～4時）
オンライン（Zoom）開催／参加者；16名
（内容）実践報告と意見交換
 - ・「コロナ禍における感染予防に工夫した面会の取り組み」（白十字）
 - ・「コロナ禍の面会の工夫について」（第二万寿園）
 - ・「ICTを導入したことによる効果について」（はるびの郷）
- ・例年実施している事務局会議、介護職短期派遣研修、栄養士研修、お年寄りの手作り作品展、市民向け施設見学会、職員親睦交流会については、新型コロナウイルス感染予防のため中止とした。
- ・各種委員会などへの委員選出・推薦

(2) 東村山市内社会福祉法人連絡会

事務局を東村山市社会福祉協議会が担当した。

- ・全体会
 - ・第1回全体会（書面決議）
決算・事業報告については、書面決議を実施した。
 - ・第2回全体会（3/22（月）午後1時30分～3時30分）
オンライン開催／出席；17法人（25名）
（議題）
 - ・東村山市内会福祉法人連絡会 活動報告について
 - ・お昼ご飯お届け事業／連絡会パネル展
 - ・2021（R3）年度 法人連絡会事業計画（案）・予算（案）について
 - ・社会福祉法人東村山市社会福祉協議会 理事の選出について
 - （報告）
 - ・情報交換／東京都地域公益活動推進協議会の活動状況 他
- ・幹事会；3回（7月、8月、9月、2月、3月）※2月以降はオンライン開催
- ・地域公益活動に関する事業
 - 1) 暮らしの相談ステーション；27法人、相談窓口35カ所
※社協の相談実績についてはP22～23を参照。
 - 2) フードドライブ事業；当面の間中止
 - 3) お弁当お届け事業
 - ・新型コロナウイルスの感染拡大からの緊急事態宣言を受け、一斉休校となって給食に困っているご家庭に法人施設でつくったお弁当をお届けする事業を検討。会員法人へのアンケート、打ち合わせを行い、下記の通り実施した。また、第二弾として、夏季休暇中の昼食対応も行った。

〔第一弾〕

- ・期間；5月11日（月）～6月9日（火）
- ・利用者；27人（うち小学生16人、中学生11人）
- ・総配食数；385食
- ・お弁当調理；村山苑（つぼみ保育園・ふじみ保育園）、
小さい共同体（飛翔クラブ）

	<ul style="list-style-type: none"> ・配達；社会福祉協議会 ・費用；お弁当実費 300 円、利用者 100 円、差額 200 円（社協負担） <p>〔第二弾〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・期間；8 月 11 日（火）～8 月 21 日（金） ・利用者；19 人（うち小学生 17 人、中学生 2 人） ・総配食数；118 食 ・お弁当調理；天童会（秋津療育園）、東京蒼生会（万寿園）、村山苑（村山荘） ・配達；配達ボランティア、社会福祉協議会 ・費用；お弁当実費 300 円、利用者 100 円、差額 200 円（社協負担） <p>4) 啓発事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パネル展の開催（10/26・月～10/30・金） ・いきいきプラザ 1 階玄関ロビー／会員法人の紹介パネルの展示 ・地域活動マッチングイベントへの参加（3/1・月～3/12 日・金） ・いきいきプラザ 1 階玄関ロビー／法人連絡会の活動紹介パネルの展示 ・福祉だより <ul style="list-style-type: none"> ・5 月号；暮らしの相談ステーション案内 ・7 月号；お昼ご飯お届け事業報告 <p>(3) その他</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 「福祉のしごと 相談・面接会」（2/13・土・午後 1 時 30 分～4 時） <ul style="list-style-type: none"> ・東村山市市民ステーション サンパルネ コンベンションホール他 ・参加；9 法人 参加者；35 名 採用者；10 名（内介護職 8 名） 2) 地域協議会の開催（3/26・金午後 6 時～8 時／オンライン＋会議室） <ul style="list-style-type: none"> ・出席者；10 名 ・法人連絡会の活動報告（地域公益事業の理解促進）
--	---

(5) 実習受入

項 目	実 績
実習生受入	<p>社会福祉士を目指す学生を対象に、社会福祉援助技術現場実習の受け入れを行った。今年度は、新型コロナウイルス感染症対策として従来の長期分散型は行わず、受入人数・期間を限定した形で実施した。5つの係に4日ずつ配属し、社協を包括的に理解できるプログラムにした。</p> <p>〔第1期；9月7日～10月12日〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東京学芸大学 1 名・都立大学 1 名・日本社会事業大学 2 名 ・オリエンテーション（9/7）、グループワーク（3回）他 <p>〔第2期；10月19日～11月20日〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本福祉教育専門学校 2 名・文京学院大学 1 名・明星大学 1 名 ・オリエンテーション（10/19）、グループワーク（3回）他 ・実習担当者会議；4回